

和歌山市教育の情報化Wプロジェクトの取組

和歌山市立教育研究所

和歌山市教育の情報化Wプロジェクトの取組

- 1 教育の情報化の考え方
- 2 ICT活用による教育的効果
- 3 Wプロジェクトの概要と成果

和歌山市立教育研究所

～子どもたちの輝く未来を築くために～

和歌山市教育委員会

教育研究所の業務内容

- ① 研究(所員研究活動)
- ② 教員研修
- ③ 調査研究

藤戸台小学校

和歌山市教育の情報化Wプロジェクトの取組

第1期

2007年度 小学校教育用コンピュータシステムの更新
 タブレットPCを全国に先駆けて約1300台を導入
 「ICTを活用した学力向上のための研究」Wプロジェクト
 「NEXTプロジェクト」に参加 (MS&メディア教育開発センター)
 教員研修体制の強化・内容の充実

2008年度 タブレットPCの教育効果の実証研究 (大規模調査)
 NEXT・Wプロジェクト実証研究の成果発表

第2期

2009年度 「電子黒板を活用した教育に関する調査研究」 (文部科学省)
 全教室に電子黒板を整備し、その効果の実証研究 (モデル校2校)
 「和歌山市子ども元気アップ大作戦」 (総務省ユビキタス特区事業)
 研究協力校、市内特別支援学級で活用研究 (iPod touch 850台)
 「学校ICT環境整備事業」 (文部科学省)
 各校1台の電子黒板、教育用PC、校務用PC、プロジェクタ等を整備

2010年度 「地域雇用創造ICT絆プロジェクト」 (総務省)
 電子黒板、タブレットPC、デジタル教材、ICT支援員を整備

和歌山市教育の情報化Wプロジェクトの取組

学校教育の情報化

授業が変わる
学校が変わる
子どもたちが変わる

教科指導でのICT活用

校務の情報化

情報教育

子どもたちの情報活用能力の育成

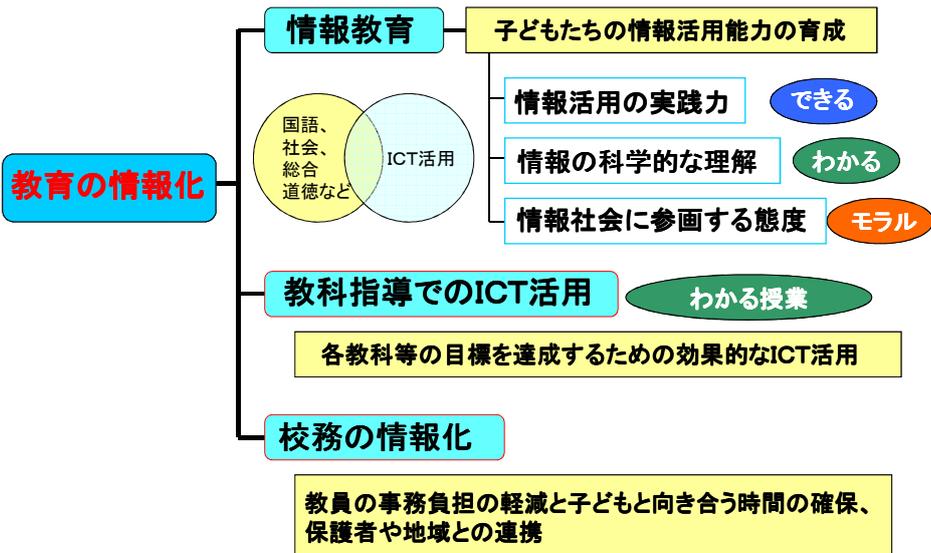
できる

わかる

モラル



□教育の情報化とは



「教育の情報化」の基本的な考え方

1. 「情報活用能力」を育成
情報社会に主体的に対応できる「情報活用能力」を育成
2. 「わかる授業」を実現し、「確かな学力」を向上
各教科等における効果的なICT活用により、基礎・基本の習得、思考力・判断力・表現力の育成など「確かな学力」を身につけさせる
3. 「校務の情報化」の推進
教員の校務を軽減化・効率化し、児童生徒に対する教育の質の向上を図るための校務の情報化

□情報教育の体系化

「情報教育」＝「子どもたちの情報活用能力の育成」
の3観点と8要素

情報活用の実践力

- 課題や目的に応じた情報手段の適切な活用
- 必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造
- 受け手の状況などを踏まえた発信・伝達能力

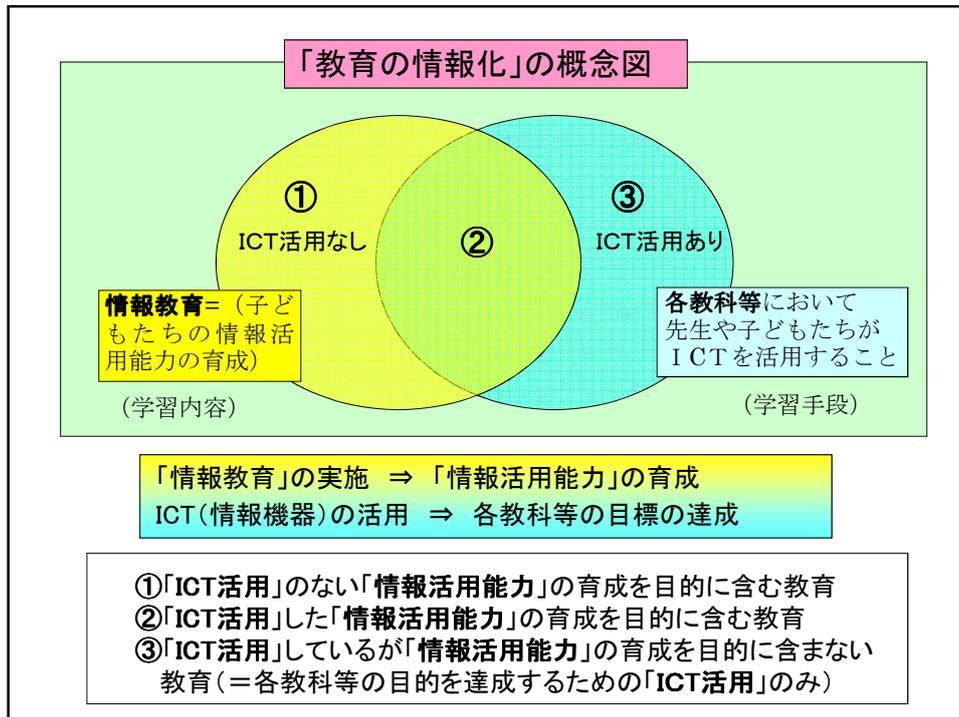
情報の科学的な理解

- 情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解
- 情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解

情報社会に参画する態度

- 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響の理解
- 情報モラルの必要性や情報に対する責任
- 望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度

3観点相互の関係を考え、児童生徒の発達段階に応じバランスよく身につけさせることが重要



小学校学習指導要領の総則の記述

学習指導要領総則 第1章 第5 2の(8)

各教科等の指導に当たっては、児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、適切に活用する学習活動を充実するとともに、視聴覚教材や教育機器等の教材・教具の適切な活用を図ること。

新学習指導要領総則 第1章 第4 2の(9)

各教科等の指導に当たっては、児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作や情報モラルを身に付け、適切に活用できるようにするための学習活動を充実するとともに、これらの情報手段に加え視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。

中学校学習指導要領の総則の記述

学習指導要領総則 第1章第5 2の(8)

各教科等の指導に当たっては、生徒がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用するための学習活動の充実に努めるとともに、視聴覚教材や教育機器等の教材・教具の適切な活用を図ること。

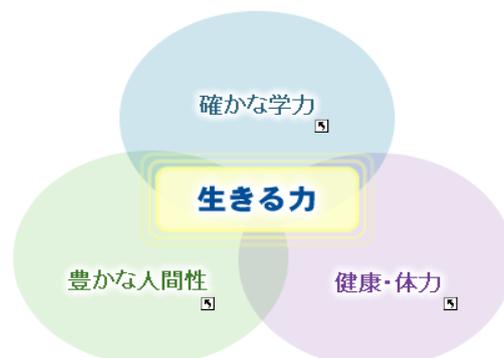
新学習指導要領総則 第1章第4 2の(10)

各教科等の指導に当たっては、生徒が情報モラルを身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切かつ主体的、積極的に活用できるようにするための学習活動を充実するとともに、これらの情報手段に加え視聴覚教材や教育機器等の教材・教具の適切な活用を図ること。

「学力」をどうとらえるか

これからの時代に求められる力とは？

変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちには、
[生きる力]、[確かな学力]を育む必要があります。



文部科学省

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku/korekara.htm

『確かな学力』とは



- ・ 知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等まで含めたもの

文部科学省

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku/korekara.htm

□ ICT活用によって期待される教育的効果

ICT活用による7つの教育的効果

⇒ 子どもたちにつけたい「確かな学力」

- | | | |
|---|---|-------------------|
| ① 基礎・基本の確実な習得 | } | これら为目标に |
| ② 子ども一人ひとりの力の伸長 | | |
| ③ 学ぶ楽しさの実感と自ら学ぶ意欲の向上 | } | 活用・探求型 |
| ④ 思考力・判断力・表現力の育成 | | |
| ⑤ 学び方，問題解決能力の育成 | | |
| ⑥ 創意工夫を生かした質の高い授業づくり | } | 授業改善 |
| ⑦ 障害のある子どもの障害に基づく種々の困難の改善・克服，社会とのコミュニケーションの拡大 | | |
| | | 特別支援教育 個に応じた教育 |

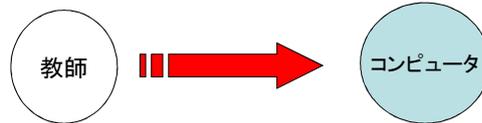
文部科学省 ITで築く確かな学力～その実現と定着のための指針～

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/021/toushin/020901.pdf

□ コンピュータ教室でのPC活用例

「機械」としての役割

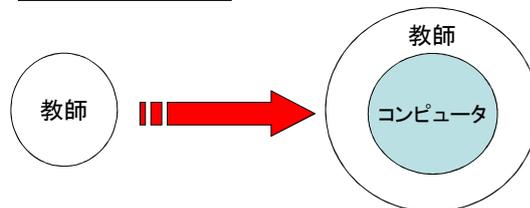
教育そのものを機械に代行させる



- ・だれがやっても同じ結果
- ・教師が必要でなくなる

「道具」としての役割

教師の授業を支援する



- ・教育をするのは教師自身
- ・教師には新しい力が要求される

CAI(Computer Assisted Instruction) コンピュータ支援授業

CAI(Computer Assisted Instruction) コンピュータ支援授業

「道具」としての役割

教師の授業を支援する

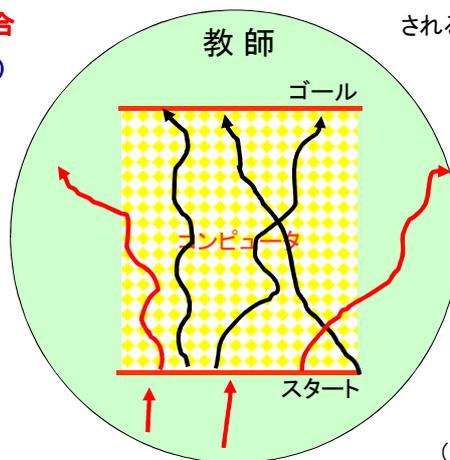
- ・教育をするのは教師自身
- ・教師には新しい力が要求される

習得型学習の場合

(児童・生徒が活用)

スタディアドバンス

小学館ドラゼミなど



コンピュータ等を効果的に
使いこなす力

(聖心女子大学:永野)

個に応じたWeb学習教材 スタディ・アドバンス



<https://www.kii-manabi.jp/student/>

児童・生徒用入口

<https://www.kii-manabi.jp/teacher/>

教師用入口

和歌山市における教育の情報化の課題と取組 － 和歌山市Wプロジェクト －

1. 和歌山市の現状と課題
 タブレットPC導入の背景と課題
2. 教育の情報化を推進するWプロジェクト
 プロジェクトとして取り組むメリット
3. Wプロジェクトの取組と成果(具体例)
 - ①人材育成の場・機会・環境
 - ②研究はICTの可能性を広げる(先進的な研究)
 - ③教員のICT活用指導力調査を活かす
 - ④研修と活用によるICT活用促進(主体性の尊重)
 - ⑤特色あるICT環境整備を目指す(目的の明確化)
4. 今後の取組

和歌山市の現状と課題

□タブレットPC導入の背景と課題

〔背景〕 学力向上への願い⇔厳しい財政状況

⇒限られた予算を効果的に活用する必要

研究の視点＝「ICT活用」＋「学力向上」

⇒学力向上に特化したシステムの実現



タブレットPC ⇒ 「**手書き**」システムの導入

〔目的〕 ICTを活用した学力向上

〔課題〕 **教員のICT活用指導力の向上**

〔Wプロジェクト2007の取組〕

- ① 教育情報化の核となる人材育成
- ② ICT活用効果の実証研究(調査研究)
- ③ ICT活用を支援する研修の充実

※「何とかなる」⇒「何とかする」プロジェクト・マネジメントへ

□ Wプロジェクト2007の目標・イメージ

① 教育の情報化の核となる人材育成

- 研究所員のタブレットPCを活用した主体的・先進的な研究活動を支援する。

② ICT活用効果の実証研究

- タブレットPCを活用した教育的効果の測定
- タブレットPCを活用した漢字学習の効果測定
- 調査研究を通じたタブレットPCの活用促進
- 「教員のICT活用指導力調査」の活用

③ ICT活用を支援する研修の充実

- 各学校・教員のニーズに対応した研修の充実
- 「教員のICT活用指導力調査」の活用

和歌山市Wプロジェクト2007・2008

和歌山市全体の取り組み

基礎学力の向上

研究調査の分析結果

□Wプロジェクトの調査研究

■Wプロジェクト2007の取組 (小学校52校, 児童20,169名)

○研究テーマ: タブレットPC活用による基礎学力の向上

○研究内容 A: 小学館手書きデジタル学習システム活用と学力向上 (5年生2,605名)
 B: 全教員への意識調査 (小学校教員1,050名)
 C: 年2回のICT活用指導力調査 (小学校教員1,050名 + 中学校558名)

■Wプロジェクト2008の取組 (小学校52校, 児童20,039名)

○研究テーマ: タブレットPC活用による基礎学力向上 + 各教科等でのICT活用

○研究内容 A: 各教科等でのICT活用と学力向上 (のべ86学級 児童2,348名)
 B: 小学館手書きデジタル学習システム活用意識調査 (3年～6年 児童13,515名 + 教員1,048名)
 C: 年2回のICT活用指導力調査 + 意識調査 (教員1,048名 + 中学校558名)

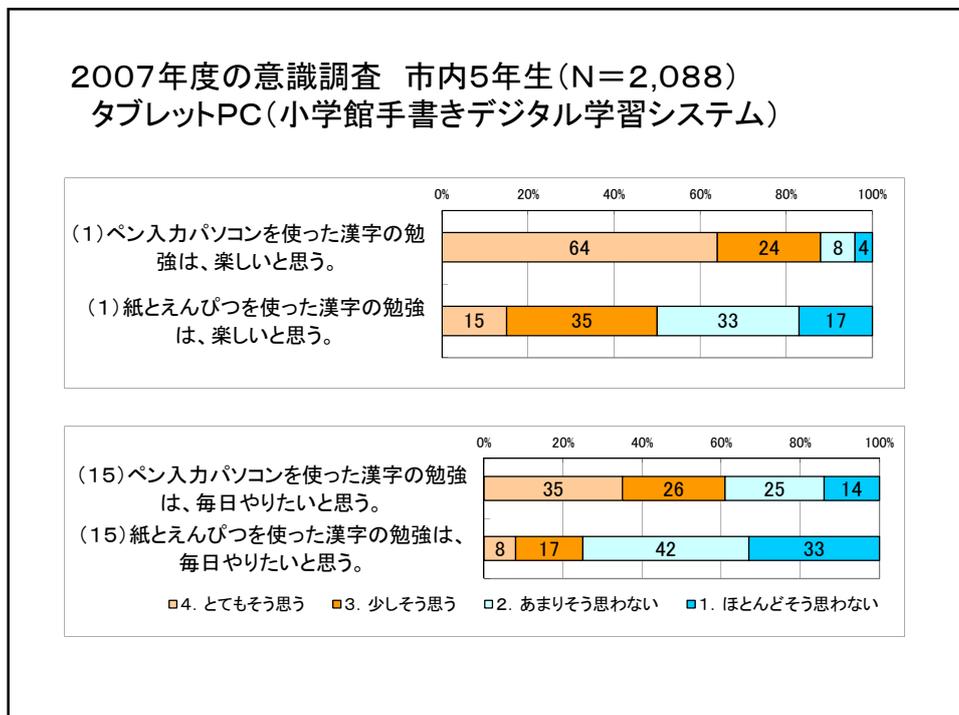
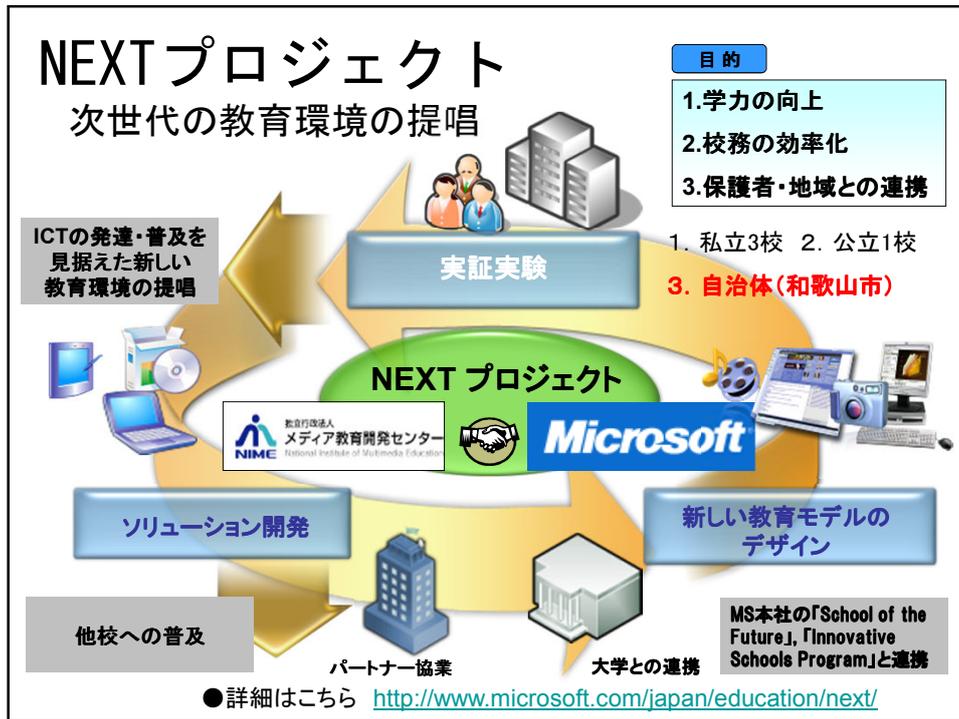
<調査研究で使用了なシステム>

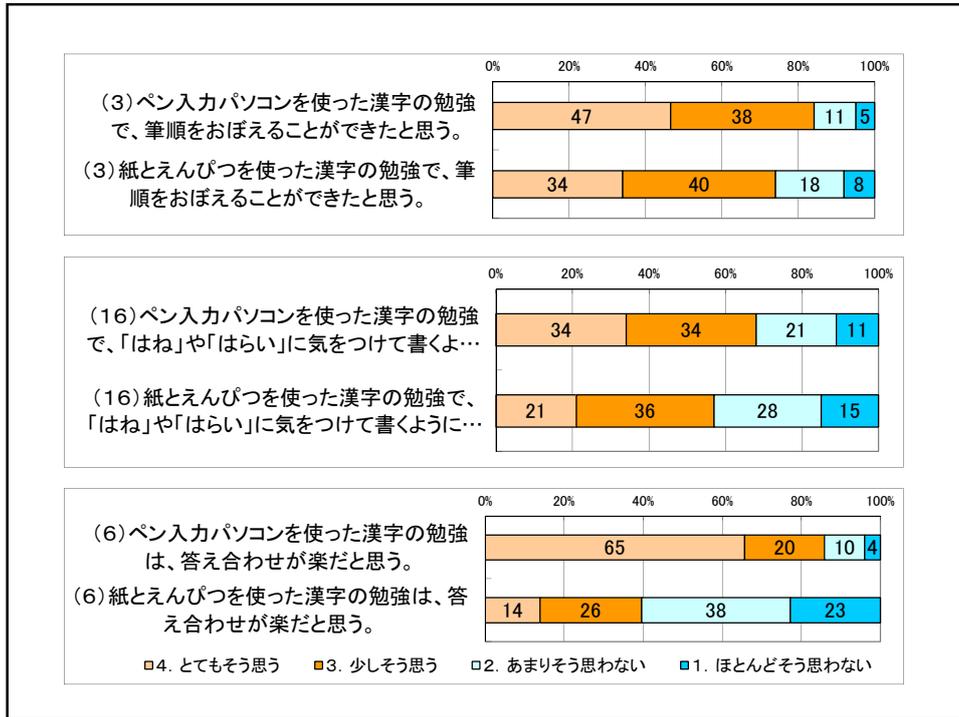
□ タブレットPC 1,300台 (UMPC含む)

<習得> …… 小学館手書きデジタル学習システム (漢字・計算、国語、社会、算数、理科)
 スタディアドバンス (国語、社会、算数、理科、英語)
 手書きデジタル学習教材 (百ます計算、都道府県等)

<活用・探究> …… OneNote、エンカルタ (百科事典)
 描画ソフト (キッドピクス、ゆめいろのえのぐ) 等

□ W-ZERO3 324台 …… スタディノート・ポケット <活用・探究>





2008年度の調査内容

| 調査 | 対象 | 方法 | 具体的内容 |
|-----------|-------------------------|--------|----------------------------|
| A 実証授業 | 児童 (2,348名) | 意識調査 | 各教科の観点別評価に基づくアンケート (4段階評定) |
| | | 客観テスト | 複数のテスト内容 (各教科の観点別評価) |
| | | 記述内容 | 観点別評価・授業での感想 |
| | 授業者 (86名) | 授業への評価 | 目標達成や学習成果への総合評価 |
| | | 授業記録 | 観点別評価・授業での感想 |
| B | 児童 (3~6年) 13,515名 | 意識調査 | T P C活用による漢字学習の感想 (4段階評定) |
| | 教員 1,048名 | 意識調査 | T P C活用による漢字指導の評価 |
| C | 教員 1,048名 | 意識調査 | I C T活用指導力に関する調査 |



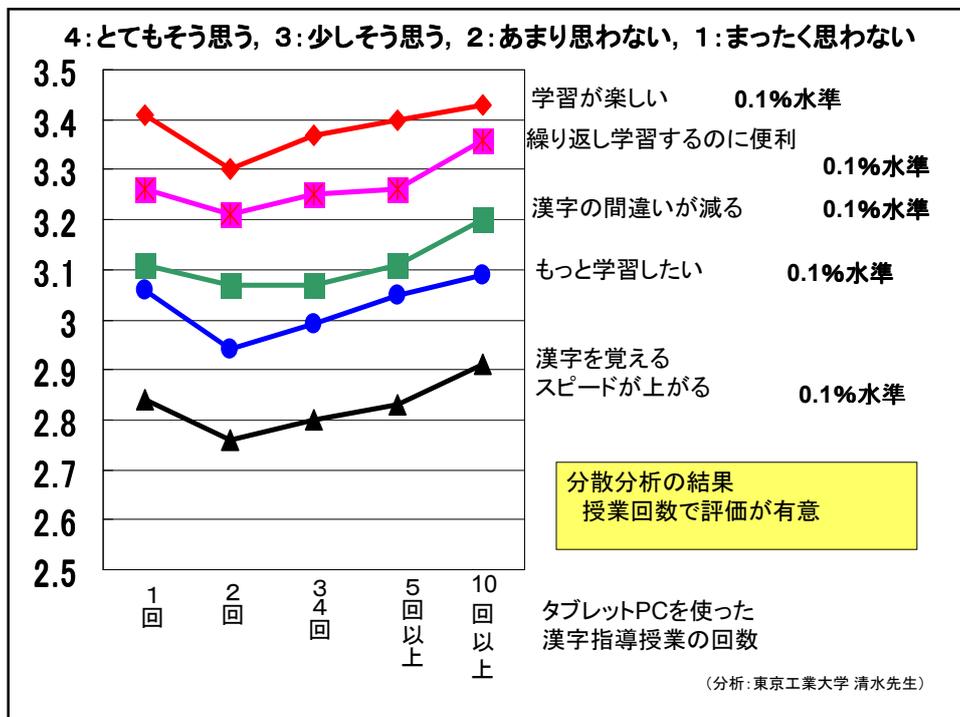
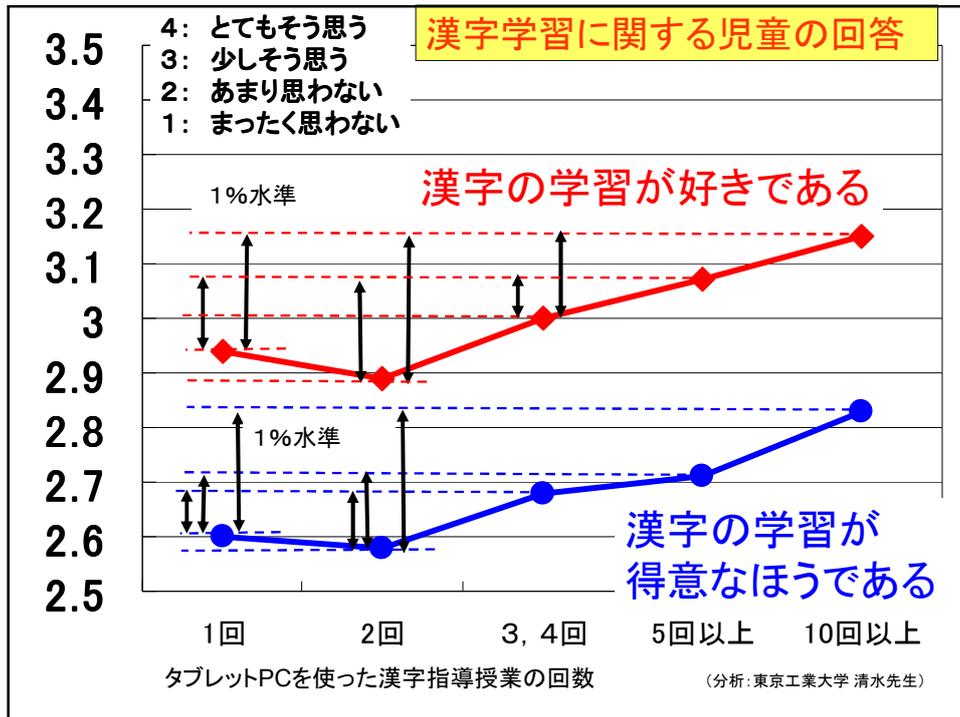
11/10 ICT活用実証授業説明会(研修)



児童の回答数 (漢字学習授業後)

| 実施した授業の回数 | 回答数 |
|-----------|----------|
| 1回 | 2,726 人 |
| 2回 | 3,344 人 |
| 3, 4回 | 2,565 人 |
| 5回以上 | 1,130 人 |
| 10回以上 | 659 人 |
| 計 | 10,424 人 |

(有効回答数)

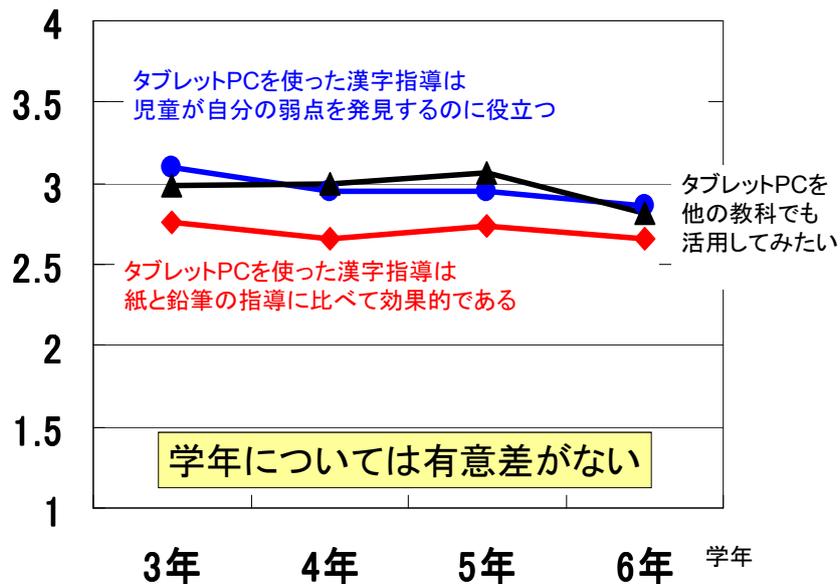


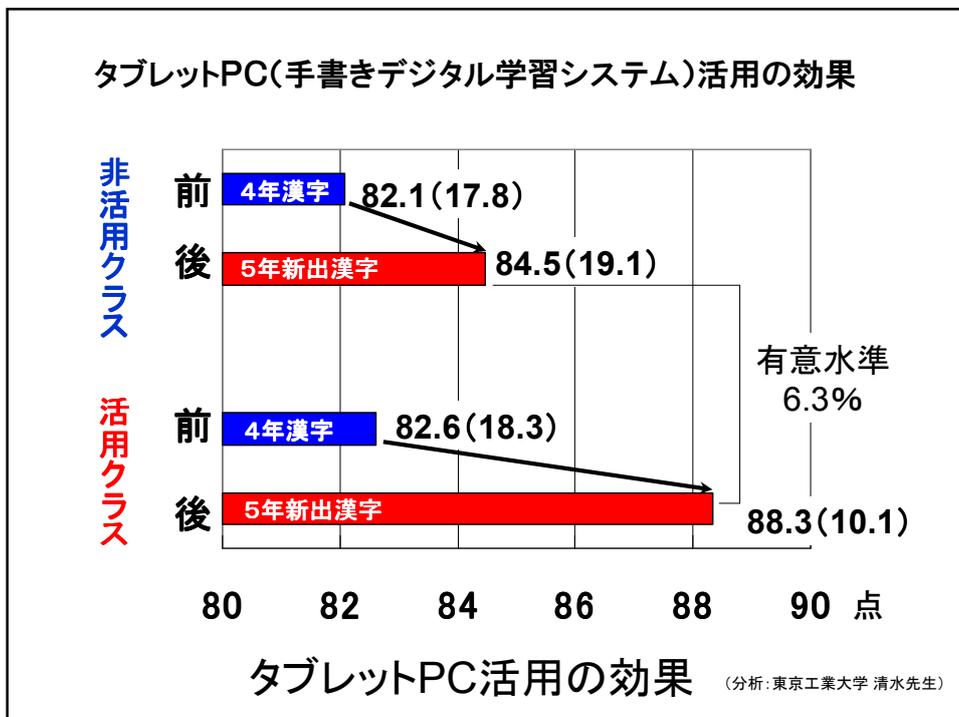
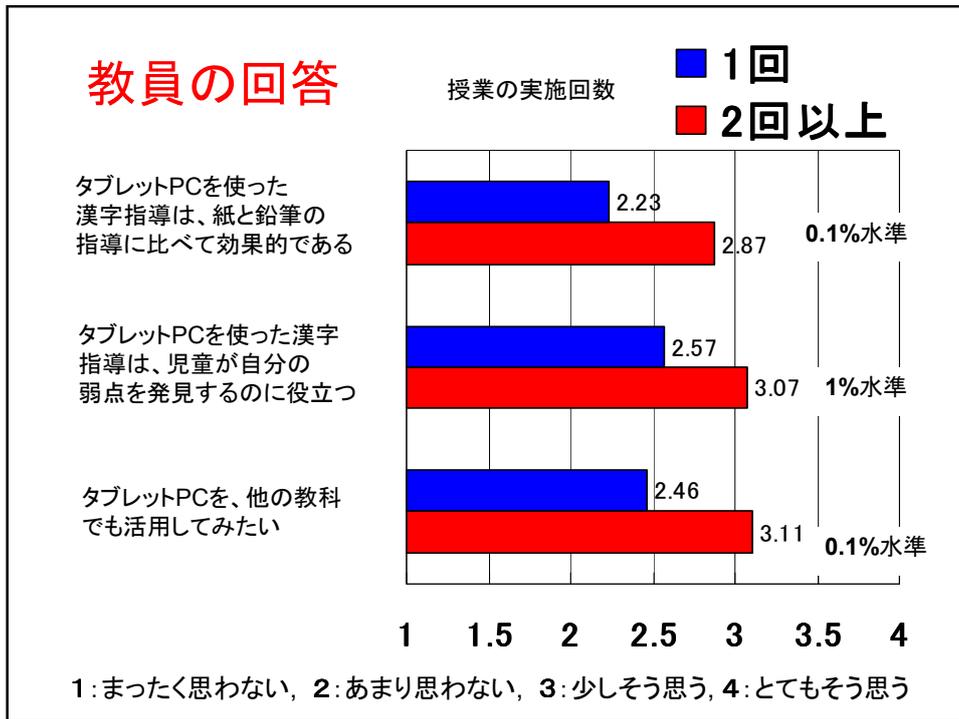
教員の回答数（漢字学習授業担当）

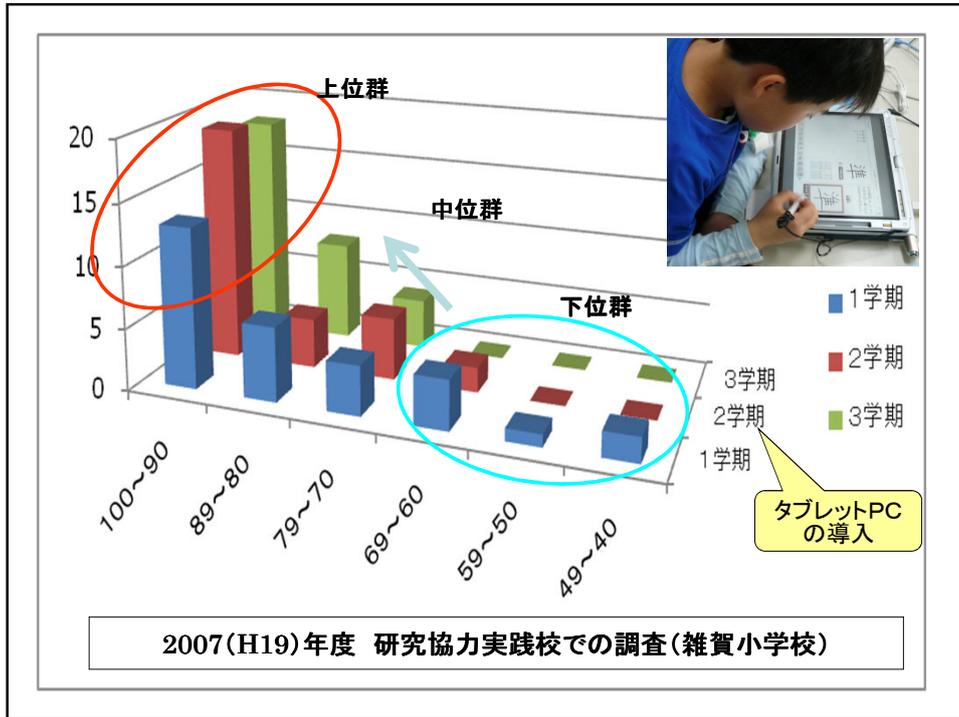
| 学年 | 回答数 | 学年 | 回答数 |
|----|------|--------------------|------|
| 3年 | 83 人 | 授業を実施していない 教員 | 230人 |
| 4年 | 80 人 | 1回の授業を実施した 教員 | 124人 |
| 5年 | 78 人 | 2回以上の授業を実施 した教員 | 226人 |
| 6年 | 93 人 | | |
| 計 | 334人 | 計 | 580人 |

教員の回答

4:とてもそう思う, 3:少しそう思う, 2:あまり思わない, 1:まったく思わない







タブレットPCを活用した学習のようす



□タブレットPCを使った漢字学習について【感想①】

児童

教師

- ・ もっとちがう漢字で、むずかしい漢字にチャレンジしたい
- ・ にがてな漢字をとくいにしたい。
- ・ 漢字をいっぱいおぼえたいので、もっときびしく、もっといっぱい漢字をしたい。
- ・ 習った漢字は、これからも書きじゆんやかたちを覚えて書きたいです。
- ・ もっと漢字をおぼえたい。たくさん漢字を少しでも上手に書きたいな。タブレットPCを使うとすぐに覚えられるだろうな。
- ・ タブレットPCを使って、きびしかったけどとても楽しかったよ。
- ・ 先生よりもきびかったです。でも楽しかったです。

(4年生の感想から)

- ・ ペンの反応が正確なのにびっくりしました。マウスを使うより学習が進めやすい。
- ・ 子どもが興味をもって取り組んでいた。ゲーム感覚で取り組めるので、楽しく次々進んでいった。
- ・ 筆順や「とめ」「はらい」などの細かい点まで、自分で確認できるので、書くのが苦手な子も楽しんで学習できた。
- ・ 自分の解答がその場でわかり、○をつけてくれるので、楽しみながら、あきることなく1時間取り組んでいた。
- ・ 一人一人の能力や興味に応じて、自分のペースで練習できるのがいい。
- ・ 丁寧に書かなければ合格できなったり、書き順も厳しくチェックされたりするので、子どもたちは美しく書こうと意識して取り組んでいた。
- ・ お手本の筆順が動画でわかりやすく何度も見ることができている。
- ・ 個々の記録が残っているのでも、どんどん書いていく子やゆっくり学習する子など、個に合わせて学習していける。
- ・ 補習等でもタブレットPCを使った指導が有効だと思います。

□タブレットPCを使った漢字学習について【感想②】

保護者

- ① 自分のペースで進められるのが良い。
- ② キーボードを使わずにペンを使って手書きできるのがスゴイと思いました。
- ③ パソコンで漢字の学習と子どもから聞いて、どんな勉強なのか疑問だった。でも、漢字を手で書くことや、一人一人の筆順をパソコンが見てくれるのがいいと思った。
- ④ 一人一人の筆順や字形の違いをパソコンが指摘してくれるのがいい。
- ⑤ 全員のすすみ具合を先生が画面で確かめられるようになっていのにビックリ。(スカイメニュー)
- ⑥ 自分も漢字が苦手だったが、子どもが楽しそうに勉強しているのを見て、嬉しいやら羨ましいやら。自分たちが小学生の時にはこんな(パソコン)なかったから...
- ⑦ 字形がおかしいところを指摘されるので、いつもより丁寧に書いていたようだった。続ければ、字が丁寧に書けるようになるかも。
- ⑧ 今後、パソコンを使用することがたくさんあると思うので、小学校から学習する事はとても良い事だと思います。
- ⑨ 子供からパソコン学習について話を聞きましたところ、板書と違って、「パソコンはみやすく、わかりやすい。」と言っておりました。これからも、パソコンを活用して頂き、わかりやすい授業をよろしく願っています。
- ⑩ 視覚からの情報は、脳により記憶する力があるように思います。パソコンを使って、よりカラフルかつ、立体的な情報を得て勉強することはいい事だと思います。デメリット面としては、やはり視力低下などが気になりますが...
- ⑪ 漢字、リレーお絵かき、英語の勉強などの手段として利用したと聞きました。それぞれ、新しい学習手段として、先生2人が教える代わりに手段として？ 子供も普段とは違う方法で興味深くできたと教えてくれました。個人的には、これからの内容は、それぞれのソフトウェアのきばえで左右されるとは思いますし、別の言い方をすれば、人が(先生が)すればいいことで、パソコンを使う必要があるのでしょか？

□情報教育についての否定的な意見(2007年度)

管理職

□情報教育について

- ① 情報教育は教育の一つの領域に過ぎない。
- ② 情報教育ばかりクローズアップされているが、環境教育だって取り組んでいる。
- ③ 今大事なことは情報教育か。教師の授業力ではないか。
- ④ 地域の現状を考えると、パソコンやインターネット環境のない家庭が多いのではないか。
- ⑤ 情報社会に対応する力が大事なことは分かるが、対応しなければならない課題が多く現場は忙しい。
- ⑥ 教育を再生するには、昔に帰る必要がある。基本は読み、書き、計算。パソコンは必要ない。
- ⑦ 若い先生はパソコンが得意だが、年配の先生方は使えない。若い先生が増えてくれば授業での活用も進むだろう。

□教員のICT活用指導力調査について

- ① アンケートが多過ぎる。何のためにしているのか、果たしてどのような効果があるのか。
- ② 校長・教頭・養護は授業をしていないことが多いので、教員のICT活用指導力の基準による調査はそぐわない。
- ③ 授業での活用は大事だが、現状は教室にパソコン環境が整っていない。プロジェクトもパソコン教室に備え付けが1台と教室移動用が1台だけだ。すべての学級で活用するのは無理がある。

保護者・地域へのはたらきかけ 2009(H21)年7月 配付
— チラシの配布 —

ICTを活用した学力向上のための研究プロジェクトと和歌山市Wプロジェクト
子どもたちの学力向上の取り組みの一環としてWプロジェクトを推進しています。

保護者のみなさまへ
和歌山市教育委員会では、平成19年度より和歌山市Wプロジェクト（ICTを活用した学力向上のための研究プロジェクト）をスタートさせ、ICT活用と学力向上についてマイクロソフト株式会社との共同研究を行ってまいりました。また、NEXTプロジェクト（マイクロソフトと独立行政法人メディア教育開発センターが連携する研究プロジェクト）に参加し、市内小学校を対象とした大規模な研究調査を行ってまいりました。このほど、その研究成果の一部がまとまり、「タブレット型パソコンを活用した漢字学習において、使用回数が多いほど子どもたちの学習意欲が向上する」ことが実証されました。Wプロジェクトでは、これまでの学習方法を大切にしながら、ICT機器を効果的に活用するために今後も研究を続けてまいりたいと考えています。

和歌山市教育委員会

※ ICTとは、Information and Communication Technology（情報通信技術）の略称でコンピュータやインターネットなどの情報コミュニケーション技術のことです。
※ Wプロジェクトの「W」は、Wakayama City（和歌山市）の略称です。



和歌山市Wプロジェクト成果報告会

| | | | |
|------------|---------------------------------|-------|--------|
| 期 日 | 2009年 6月 9日(火) | | |
| | 公開授業 11:30-12:00 | | |
| | 記者会見 13:50-14:50 | | |
| 場 所 | 公開授業: 和歌山市立有功東小学校 6年風組 社会科授業 | | |
| | 記者会見: 和歌山市役所7F 記者会見室 | | |
| 出 席 | 和歌山市長 | 大橋 建一 | |
| | 和歌山市教育委員会 教育長 | 大江 嘉幸 | |
| | 東京工業大学 名誉教授 | 清水 康敬 | |
| | マイクロソフト株式会社 | | |
| | | 執行役常務 | 大井川 和彦 |



和歌山市Wプロジェクトの研究成果 —マイクロソフトとの共同研究による成果—

- ① **人材育成の効果（所員活動）**
タブレットPCの先進的研究
⇒研究成果の蓄積、人材育成
- ② **研究協力実践校での成果**
⇒タブレットPC効果的活用
思考・判断・表現力育成に効果
- ③ **市内全体でのICT活用の促進**
⇒基礎学力向上（効果の実感）
- ④ **教員のICT活用指導力の向上**
⇒教員の意識の変容
教員研修へのニーズの向上
(集合研修、訪問研修、e-ラーニング研修、
ICTスキルアップオンライン研修等)



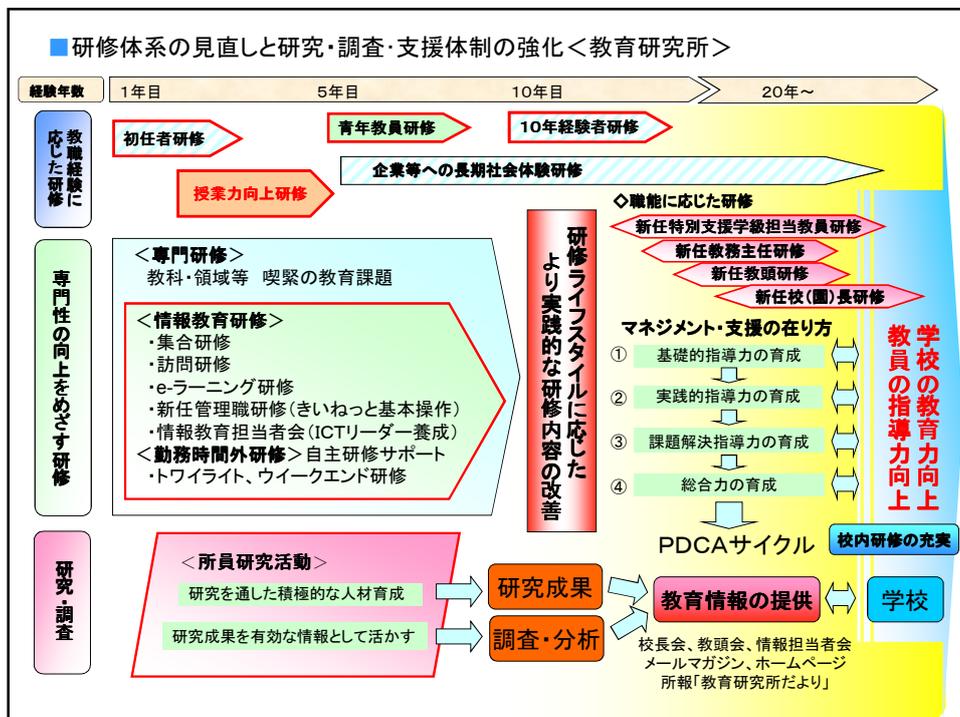
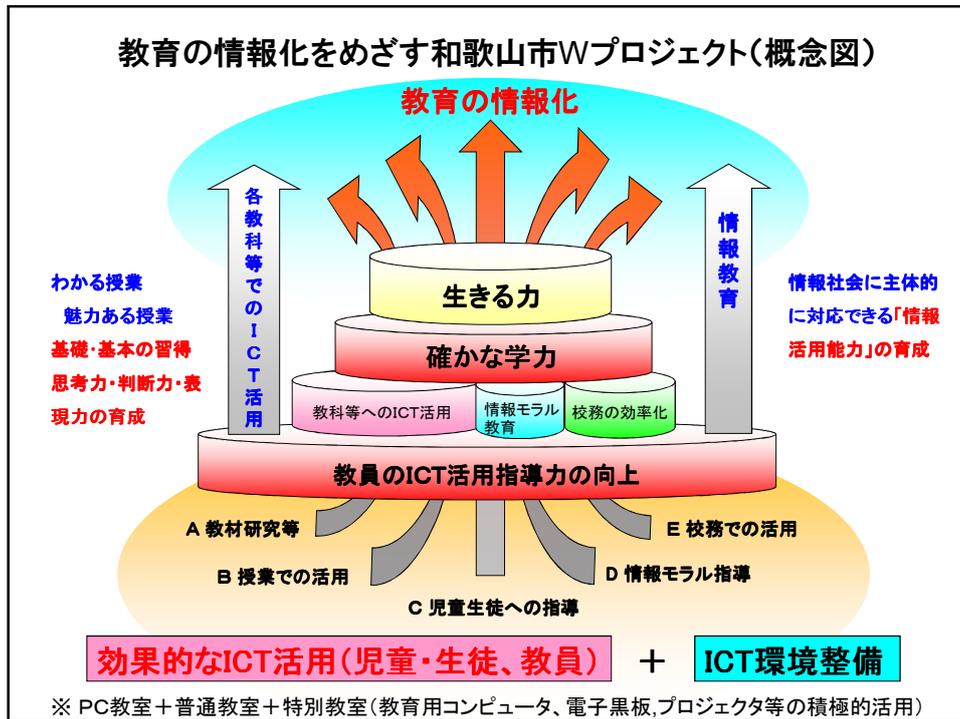
2. 教育の情報化を推進するWプロジェクト

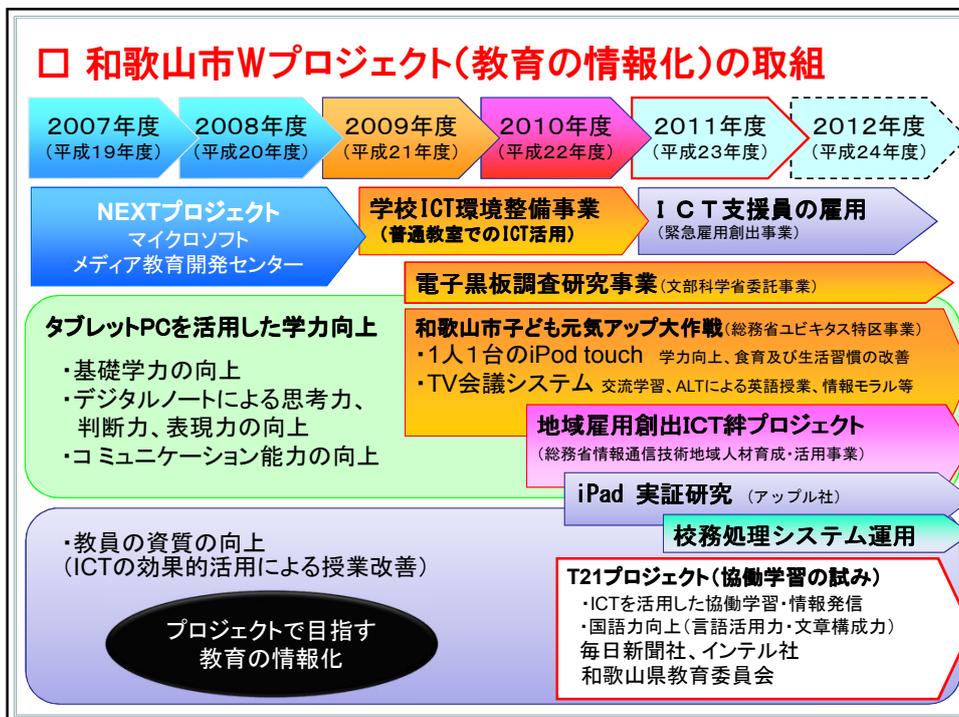
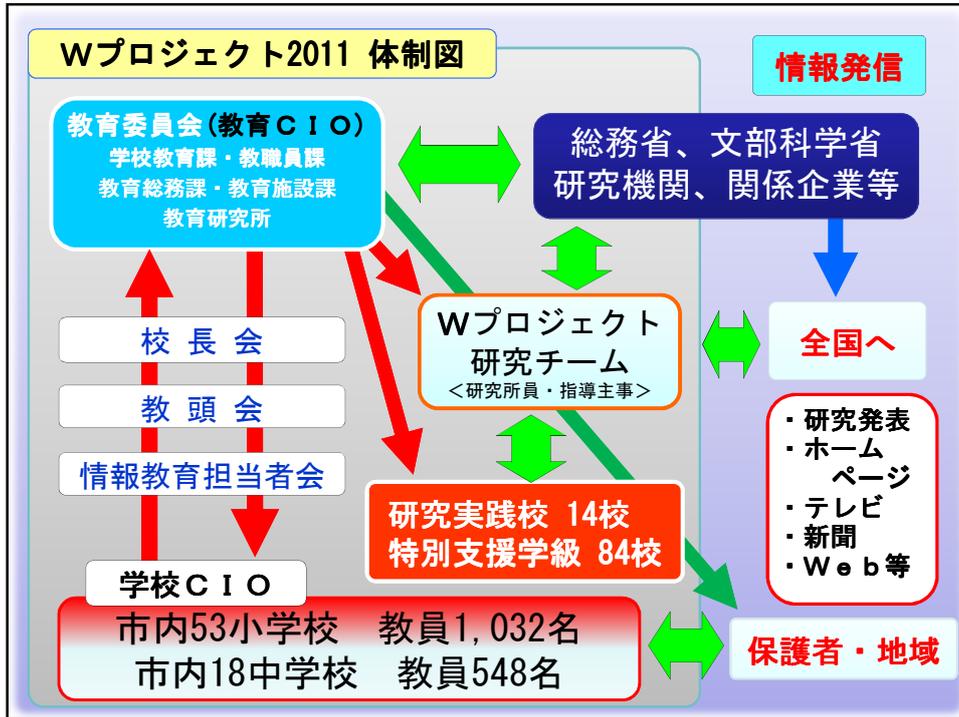
□ **教育研究プロジェクト**として取り組むメリット
プロジェクト=独自性を創造する有期的な取組

- ◆ 目的・目標を明確にした短期の協働事業
- ◆ 共同研究の実施(研究開発、実証研究フィールド)
- ① 単独では実現できない大きな成果
- ② 関係機関、企業等のノウハウを享受
- ③ 組織改革によらない元組織の活性化

ポイント

- ビジョンの明確化(目的⇒目標=到達点)
- 事業の企画・経過・目標・成果の見える化
- 情報を正しく伝えるコミュニケーション力
- リーダーシップとマネジメント力





| 和歌山市Wプロジェクト研究指定校一覧(公募) | | | | | | | | |
|--|--------------|---------------------------|-------|--|-------------------------------------|--|---------|---------|
| 事業名 | 所管 | H19年度 | H20年度 | H21年度 | H22年度 | H23年度 | H24年度 | H25年度 |
| 「ICTを活用した 学力向上のための 研究」研究指定校 | 和歌山市 | 四箇郷小学校 有功東小学校 雑賀小学校 | | 四箇郷小学校 有功東小学校 雑賀小学校 宮小学校 雄湊小学校 | | 四箇郷小学校 有功東小学校 雑賀小学校 宮小学校 雄湊小学校 | | タブレットPC |
| | | ※PC教室児童1人1台 | | | | | | |
| ユビキタス 「和歌山市子ども 元気アップ大作戦」 研究指定校 | 総務省 | 研究協力実践校 研究協力校 | | | 有功小学校 | iPod touch TV会議システム | | |
| | | ※市内小学校特別支援学級 | | | 四箇郷小学校 楠見西小学校 楠見東小学校 福島小学校 | | | |
| 「情報セキュリティ ポリシー策定」 研究指定校 | 和歌山市 | | | | 西和中学校 東和中学校 | 西和中学校 東和中学校 | | |
| 電子黒板活用研究協 研究指定校 | 文部科学省 | | | | 貴志中学校 有功東小学校 | 貴志中学校 有功東小学校 | 電子黒板 | |
| 「21世紀型スキルを 育む教育の研究」 絆プロジェクト (みらい学校) | 総務省 | | | | 貴志小学校 雄湊小学校 | 電子黒板 | | |
| | | | | | 藤戸台小学校 | | タブレットPC | |
| 「フューチャース クール推進事業」 | 総務省 文部科学省 | | | | | | 城東中学校 | |

和歌山市Wプロジェクト

研究指定校での取り組み

研究チーム(研究所員)による研究

ICTの先進的な活用研究

①「伝える活動を重視した社会科教育における
タブレットPCの活用」＜社会科＞（雑賀小学校 岡本）

タブレットPCとデジタルノートの活用

- ・ **タブレットPC**
ペン機能(手書き入力機能)
- ・ **デジタルノート**
(Microsoft One Note)
画像の貼り付け・拡大・縮小・配置の変更
ライブ共有セッション機能(情報の共有機能)



①「伝える活動を重視した社会科におけるタブレットPCの活用」
One Note でまとめたノート

まとめ

体に良い安全な米を作るためのくふう

1. 農薬をよらないようにじょうぶなえを育てる
 - ・ビニールハウスで育てる
 - ・ハウスの気温を調節する
2. たい肥を土にまぜる
 - ・たい肥を土にまぜてよくたがやすことで土の力も栄養分も高くなる
3. 農薬をへらす
4. 農薬の量や回数へらす

アイカモ農法

- ① アイカモは、わかい草や害虫を食べています。じょう草やいや、さちがせいはいらない
- ② 一日中泳ぎ回って水や土をかきまぜ、根に新しい空気を送ります。それにアイカモのふんが自然な肥料になります。

学習の政め

田アイカモやたい肥を使った安全でかきおにやさしい米づくりが実行なれるようになった
圃場気や害虫・虫害に強く・おいしい米の品種改良が進められている

体の良い安全な米を作るためのくふう

1. 農薬をよらないようにじょうぶなえを育てる
 - ・ビニールハウスで育てる
 - ・ハウスの気温を調節する
2. たい肥を土にまぜる
 - ・たい肥を土にまぜてよくたがやすことで土の力も栄養分も高くなる
3. 農薬をへらす
4. 農薬の量や回数へらす

アイカモ農法

- ① アイカモは、わかい草や害虫を食べています。じょう草やいや、さちがせいはいらない
- ② 一日中泳ぎ回って水や土をかきまぜ、根に新しい空気を送ります。それにアイカモのふんが自然な肥料になります。

下線色ペン

画像に書き込み

まとめのことは

新たな課題「環境問題」

Microsoft Innovative Teachers Conference 2009, MalaysiaでWプロジェクトを紹介






②「表現を共有し互いに学び合える場の学習効果」<図工科>

↓ 紙ベースでの活動



リレーお絵かき



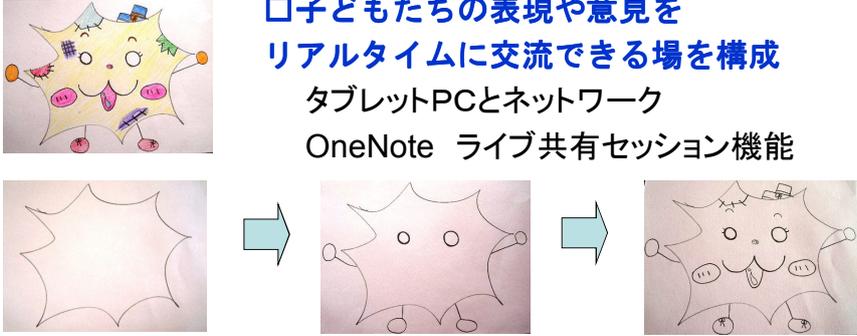
↓ ネットベースでの活動



それぞれのページを全員が見たり操作したりすることができる

子どもたちの表現や意見をリアルタイムに交流できる場を構成

タブレットPCとネットワーク
OneNote ライブ共有セッション機能



②「表現を共有し互いに学び合える場の学習効果」<図工科>

OneNoteのライブ共有セッション機能



アンケート(ネットベースのいい点)

途中で自分の作品が見られる(11人)

共有することの効果

色ペンが使える。(15人)

消し跡が残らない。(6人)

TPCを使うことの効果

6th APAC Regional Innovative Education Forum 2010, Singapore でWプロジェクトを紹介

Online Relay Drawing

For an art class "where children learn from others"

Activities to nurture the ability to express

Microsoft OneNote + Tablet PC

This is an approach to positively learn methods of expression from friends by watching them draw on a real time basis by connecting Tablet PCs in the network.

The Tablet PCs of the participating children are used as a shared canvas in the Microsoft OneNote Live Sharing Session.

Children engage in an **easy** activity or **activities** for **understanding** people, in which they are connected to each other in the network, learn from each other, and improve each other.

Environment realized by the network:

- Children can be a potential work environment to friends.
- Children can be a potential work environment to friends.
- Children can be a potential work environment to friends.
- Children can be a potential work environment to friends.

Procedure of relay drawing

1. Each child starts to draw on their own tablet.
2. When the drawing is over, children change the page and...
3. See what their friends draw.
4. See changes made to their own work.

The core of picture drawing in a relayed manner:

- Think real and below in choosing the most suitable item to draw, so that it will not be wiped.
- Use the shared item to enhance your friends draw after thinking well and twice, avoid erasing them but use them in the most effective way to make your own unique picture.
- Make it a picture of your favorite character by using the pieces others draw in the most effective way. Now, your work is complete!

When the process is completed, children receive feedback on their work from friends, using the live sharing feature.

Examples completed at an artwork, using the completed

As a picture... "Together" with the happy alien

The child made up a story based on the relationship.

As a character... "Happy Happy Heaven" for...

Little work, a character communicate something

Children's comments after the activity

It is fun because I can draw a picture that fits the image I have in my mind.

I was excited while I worked on my drawing, because I could see how it grew.

Until now, I did not like drawing pictures very much. But this time, I received a lot of praise from my friends, and I

As I could see right away how my things were changed and what I could see, I was so interested in

研究所員活動(研究授業)

～効果的なICTの活用をめざして～



授業研究(ICTの効果的な活用)



授業力の向上>ICTの活用

日常での活用



大型提示装置



タブレットPC

研究授業を終えて

- 食料自給率、輸入問題、食の安全などの課題を生活と深く関わらせる工夫が必要。
- ICTを使った発表形態に慣れていない。
- 児童が準備した資料を簡単に提示できる実物投影機は効果的。

情報活用能力

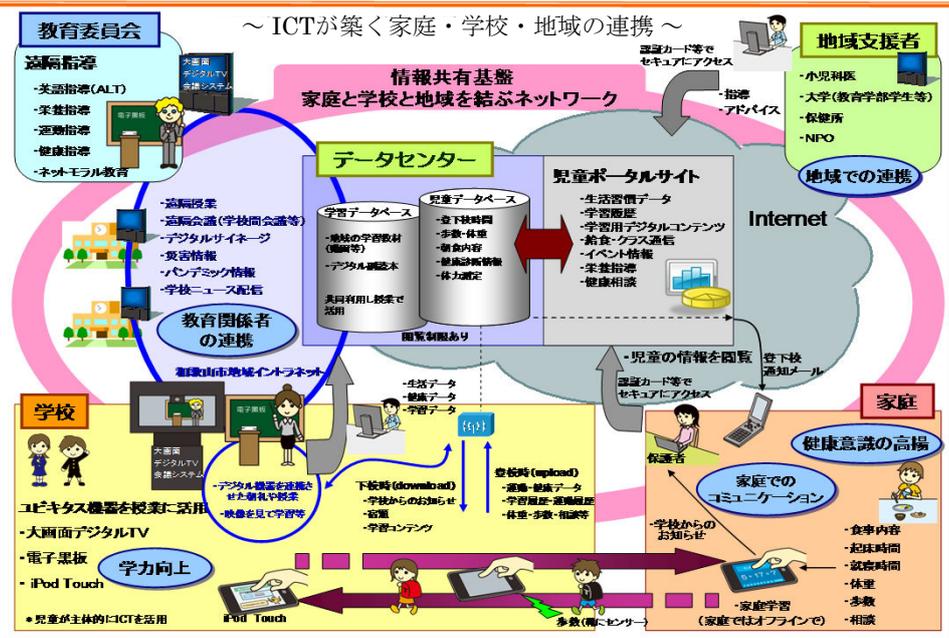
様々な情報の中から、必要な情報を選び、整理し、考えをまとめて他人に向けて発信していく力

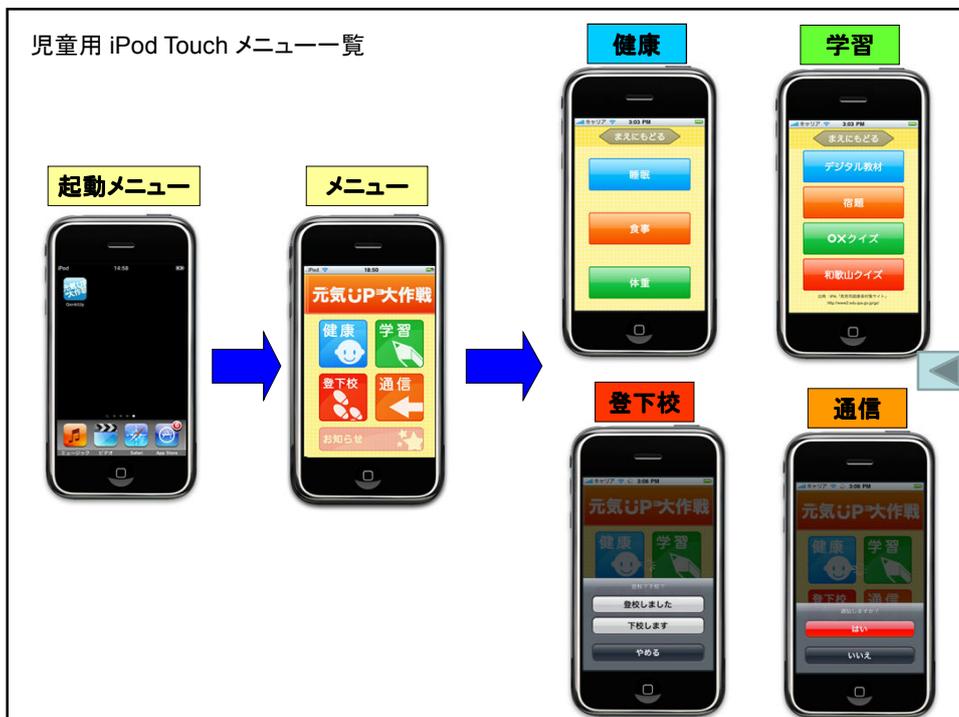
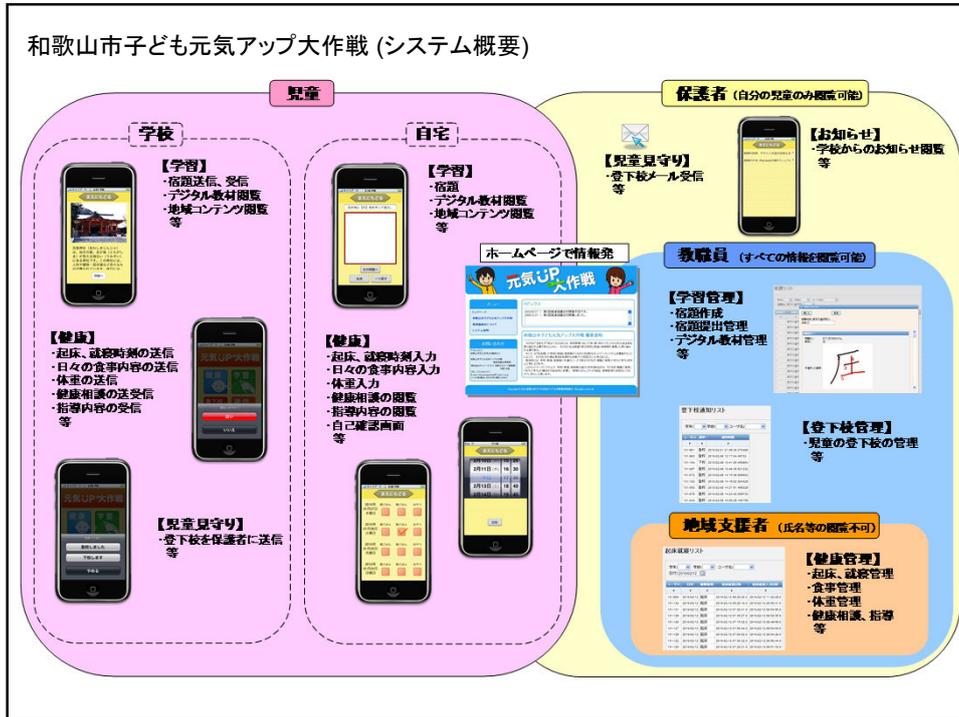
和歌山市教育の情報化Wプロジェクトの取組

第1期
第2期

- 2007年度** 小学校教育用コンピュータシステムの更新
 タブレットPCを全国に先駆けて約1300台を導入
 「ICTを活用した学力向上のための研究」Wプロジェクト
 「NEXTプロジェクト」に参加 (MS&メディア教育開発センター)
 教員研修体制の強化・内容の充実
- 2008年度** タブレットPCの教育効果の実証研究 (大規模調査)
 NEXT・Wプロジェクト実証研究の成果発表
- 2009年度** 「電子黒板を活用した教育に関する調査研究」 (文部科学省)
 全教室に電子黒板を整備し、その効果の実証研究 (モデル校2校)
 「和歌山市子ども元気アップ大作戦」 (総務省ユビキタス特区事業)
 研究協力校、市内特別支援学級で活用研究 (iPod touch 850台)
 「学校ICT環境整備事業」 (文部科学省)
 各校1台の電子黒板、教育用PC、校務用PC、プロジェクタ等を整備
- 2010年度** 「地域雇用創造ICT絆プロジェクト」 (総務省)
 電子黒板、タブレットPC、デジタル教材、ICT支援員を整備

総務省ユビキタス特区事業「和歌山市子ども元気アップ大作戦」H21







元気UP大作戦

テレビ会議システムを活用した遠隔授業 <http://www.wakayamagenkiup.jp/>

(外国語活動)

How are you?
I am great!
How are you?
Good!

<http://www.cisco.com/web/JP/solution/casestudy/index.html>

文部科学省
電子黒板調査研究事業
—研究成果の共有—

教科書の問題や資料集の図などを大きく映す

- ・教材の準備時間が減らせる
- ・子ども達の視線を集めることができる



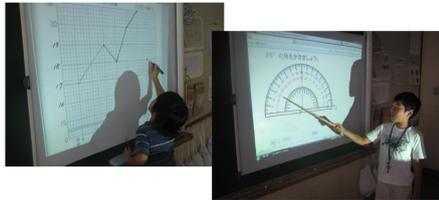
児童の発表時に資料やノートを大きく映す

- ・児童の資料作成の時間を短縮
- ・写真や絵もよく見えるのでわかりやすい発表になる



一斉指導で説明するのが難しいものを大きく映す

グラフのかき方・分度器のメモリの見方・漢字テストの答なども一目でわかりやすく説明ができる



理科の実験などを静止画や動画で撮影しておき、後で拡大提示する

実験結果について発表したり、話し合ったりするときに役に立つ



理科の演示実験を大きく映す

細部や見せたい場面をわかりやすく提示できる。



デジタルコンテンツの活用

今はネット上に豊富にコンテンツがあるので、うまく使えば、わかりやすい・楽しい授業になる



自作のパワーポイント教材の活用

教材作成に時間がかかるが、授業の流れに適した提示ができる



授業で活用したデジタルコンテンツを休み時間も操作できるようにしておく

自主的に学習した内容を復習する子どもたちが現れる。



子どもたちの反応

| | アンケート項目 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|----|--|-----|-----|-----|----|
| 1 | 授業で電子黒板を使った方がいいと思いますか | 74% | 26% | 0% | 0% |
| 2 | 電子黒板を使った方が進んで学習できると思いますか | 89% | 11% | 0% | 0% |
| 3 | 電子黒板を使った方が発表しやすいと思いますか | 67% | 19% | 15% | 0% |
| 4 | 電子黒板を使った方が発表したいと思いますか | 48% | 26% | 26% | 0% |
| 5 | 電子黒板を使った方が友だちの意見がよくわかると思いますか | 78% | 19% | 4% | 0% |
| 6 | 電子黒板を使った方が先生の話がよくわかると思いますか | 67% | 33% | 0% | 0% |
| 7 | 電子黒板を使った方が授業に集中できると思いますか | 48% | 52% | 0% | 0% |
| 8 | 電子黒板を使った方が学習内容がわかりやすいと思いますか | 63% | 30% | 7% | 0% |
| 9 | 電子黒板を使った方が楽しく学習できると思いますか | 63% | 33% | 4% | 0% |
| 10 | 電子黒板を使った方が話し合いが活発になると思いますか | 48% | 33% | 19% | 0% |
| 11 | 電子黒板を使った方が自分にあった方法やスピードで学習を進めることができると思いますか | 56% | 33% | 11% | 0% |

4. たいへん 3. 少し 2. あまり 1. まったく

子どもたちの反応

| 自由記述から | 記入人数 |
|------------------------------|------|
| 勉強がわかりやすくなった | 14 |
| 図や表が見やすくていい | 4 |
| 色を変えたりできて分かりやすくなった | 2 |
| 楽しく勉強できる | 2 |
| 友だちの意見がわかりやすい | 2 |
| いろんなのを映せるから便利 | 1 |
| プロジェクターより見やすいから勉強しやすくなった | 1 |
| 黒板でできないことができるのでいい | 1 |
| 使いやすい(算数のとき) | 1 |
| 勉強が早くできる。特に算数 | 1 |
| 黒板だと書く時間がかかるが、電子黒板だと早く問題ができる | 1 |
| がめんが大きくなったので見やすくなった | 1 |
| 算数の勉強で図が大きくなるからいい | 1 |

アンケート回答数 27人

電子黒板の弱点

- ◆ペン機能が書きづらい
- ◆手書きできるスペースが狭い
- ◆日の当たり方によって見にくい時がある
- ◆PCの不具合等、機械の調子が悪く手間取ることがある
- ◆台数が少ない学校では、セッティングが面倒

平成23年度文部科学省委託

国内のICT教育活用好事例の収集・普及・促進に関する調査研究

財団法人日本視聴覚教育協会 / 日本視聴覚教員連合会

研究概要

各ブロック情報

実践事例

リンク集



主催：文部科学省・和歌山県教育委員会・和歌山市教育委員会

教育ICT活用実践研究 一関西ブロック発表会一

平成23年12月9日(金)13:30～17:00

和歌山市立有功東小学校

平成21年度学校ICT環境整備事業

■小・中学校

教育用コンピュータ
(各学年1台・特別支援学級)

64 WDL-FXR
プロジェクタ・スクリーン(各校1台)

一体型電子黒板(各校1台)

■小学校

同軸LAN機器による校内ネットワーク
(各普通教室・特別教室・特別支援学級)

ユニット型電子黒板(各校1台)

校務用コンピュータ(各校2台)

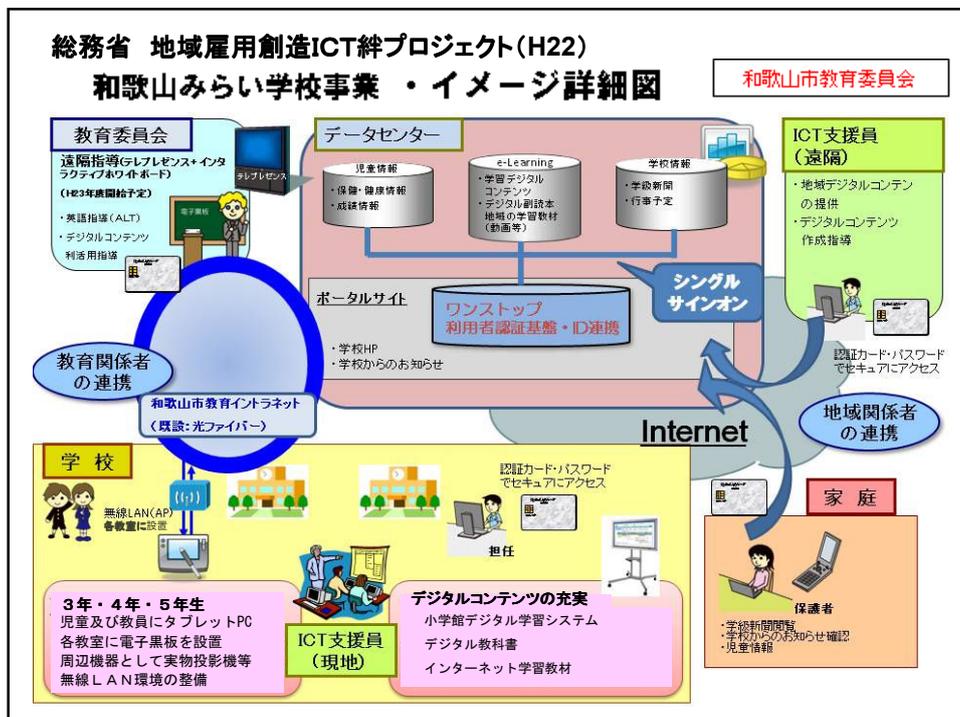
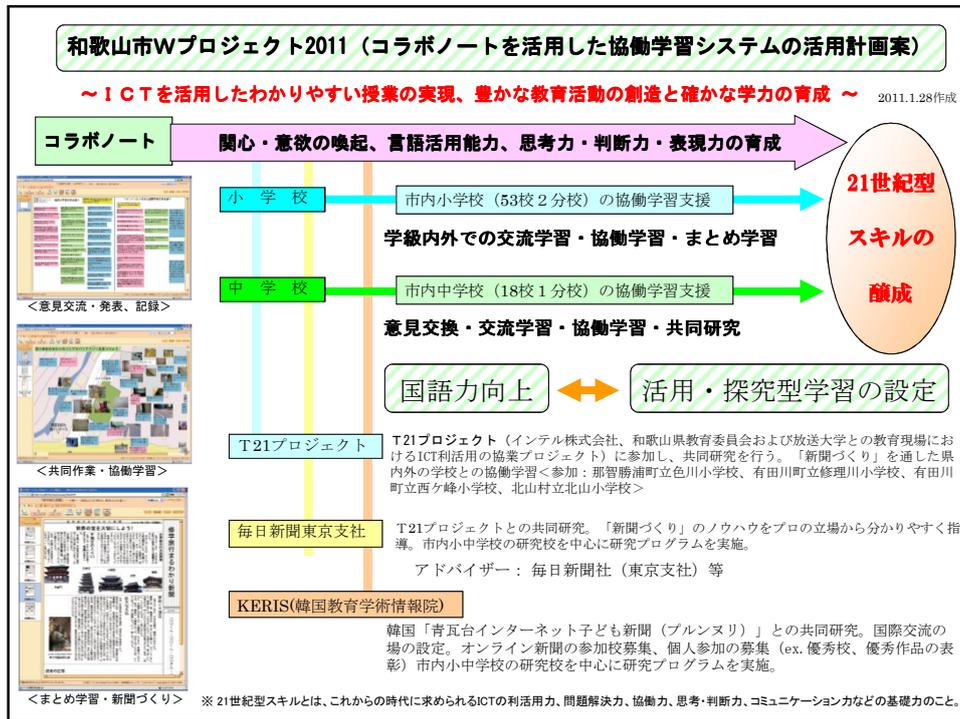


電子黒板活用研修



電子黒板活用訪問研修





総務省「地域雇用創造ICT絆プロジェクト」

和歌山みらい学校事業(H22)対象校



和歌山市立貴志小学校



和歌山市立雄湊小学校

1. 教員のICT活用指導力の基準の具体化・明確化の必要性

「e-Japan戦略」(平成13年1月)の評価

目標の未達成

平成18年3月現在、「コンピュータ等を使って指導できる教員」の割合は **76.8%**(目標は100%)。

基準があいまい

「コンピュータ等を使って指導できる教員」の定義：何らかの手段で少しでも(過去も含めて)コンピュータ等を活用した授業ができる教員

「IT新改革戦略(平成18年1月)」へ反映

2006年度までに教員のIT指導力の評価の基準の具体化・明確化を行い、全ての教員のIT活用能力を向上させる。

平成18年10月

「教員のICT活用指導力の基準の具体化・明確化に関する検討会」の設置

□教員のICT活用指導力調査を活かすために

※年度当初と年度末に調査を実施

- ⇒先生方の研修参加のめあてがもてる。
- ⇒取り組みの成果が実感(視覚的)に捉えられる。
- ⇒学校全体としての課題が明らかになり、研修計画、サポート体制の具体的な取り組みが可能となる。
- ⇒市全体の施策を構築する基礎資料となる。

・個人のデータは個人情報だが、全体のデータは教育力の指標となる。(何が出来るかによって、ICT活用の幅が限られる。)
 ・子どもたちがICT活用の恩恵に授かるためには、教員のICT活用指導力が大きく影響してくる。(研修と活用は車の両輪)

□教育の情報化とマネジメント

目的:ICT活用による学力と教員の指導力の向上

Plan(計画) キーワード:ICT活用、学力向上、教員の意識



リサーチ:教員のICT活用指導力(年度当初)

Do(実施) ICTを活用⇒学力・指導力向上



※効果的な活用

Check(評価) 現状⇒教員のICT活用指導力(年度末)



子どもたちの反応 教師の意識

Action(行動) 研究・研修体制に活かす
付加価値(メリットを感じる)

2. 教員のICT活用指導力の基準について

「小学校版」、「中学校・高等学校版」の2種類を作成

「4：わりにできる」「3：ややできる」「2：あまりできない」「1：ほとんどできない」の4段階で自己評価。

5つの大項目と18のチェック項目から構成

<5つ大項目>

- A 教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力
- B 授業中にICTを活用して指導する能力
- C 児童生徒のICT活用を指導する能力
- D 情報モラルなどを指導する能力
- E 校務にICTを活用する能力

チェック項目だけではICTを活用した指導場面をイメージできない場合は、具体的な指導例を参照して適切に自己評価を実施。具体的な指導例はWebページを参照。(URL: <http://tab-ict.nime.ac.jp/>)

チェックリストのURL (http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/039/index.htm)

教員のICT活用指導力チェック表の評価について

教員数20人の学校の例

| わりにできる | ややできる | あまりできない | ほとんどできない |
|--------|-------|---------|----------|
| 5人 | 8人 | 6人 | 1人 |
| 25% | 40% | 30% | 5% |
| できる割合 | | できない割合 | |
| 65% | | 35% | |

| No. | 評価者 | | | |
|------------------------------|--------|-------|---------|----------|
| | わりでできる | ややできる | あまりできない | ほとんどできない |
| A 教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力 | | | | |
| 15 | () | (○) | () | () |
| 16 | () | (○) | () | () |
| 17 | () | (○) | () | () |
| 18 | () | (○) | () | () |
| B 授業中にICTを活用して指導する能力 | | | | |
| 19 | () | (○) | () | () |
| 20 | () | () | (○) | () |
| 21 | () | () | (○) | () |
| 22 | () | (○) | () | () |
| C 児童のICT活用を指導する能力 | | | | |
| 23 | () | () | (○) | () |
| 24 | () | () | (○) | () |
| 25 | () | () | (○) | () |
| 26 | () | () | (○) | () |
| D 情報モラルなどを指導する能力 | | | | |
| 27 | (○) | () | () | () |
| 28 | () | (○) | () | () |
| 29 | (○) | () | () | () |
| 30 | () | (○) | () | () |
| E 校務にICTを活用する能力 | | | | |
| 31 | () | (○) | () | () |
| 32 | () | () | () | (○) |

「活用しているか」ではなく、「活用できるか」(活用能力)でお答えください。以下の項目の同様です。

まだ「できない」(「あまりできない」「ほとんどできない」と、厳しく自己評価をする必要はありません。自信をもって、ありのままをお答えください。

「情報モラル指導」は、道德の授業以外に、朝の会などの短時間の指導も含まれます。すべての教員が指導することになっています。

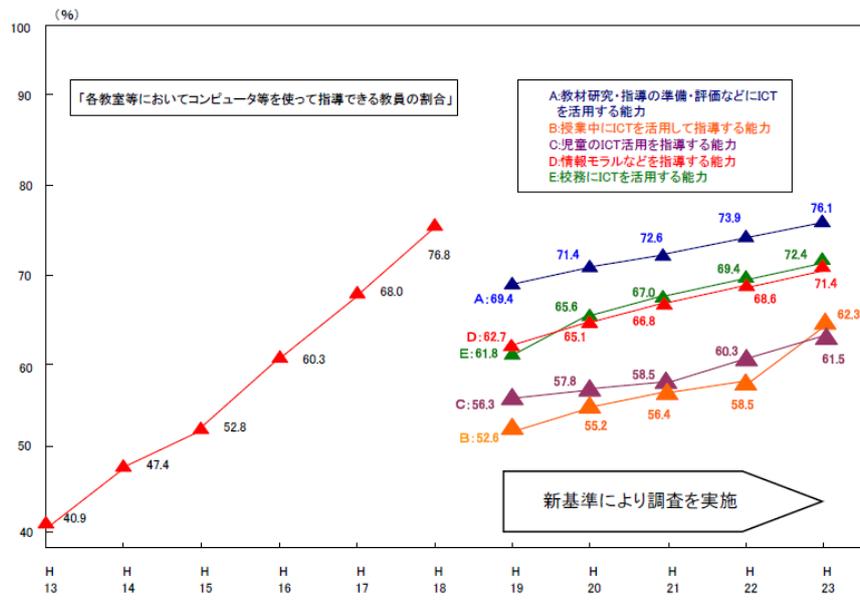
「校務にICTを活用する能力」についての項目です。ICT環境が整備されていない場合でも、できるかどうかでお答えください。

平成22年度 学校における教育の情報化の 実態等に関する調査結果

〔速報値〕
(平成23年3月現在)

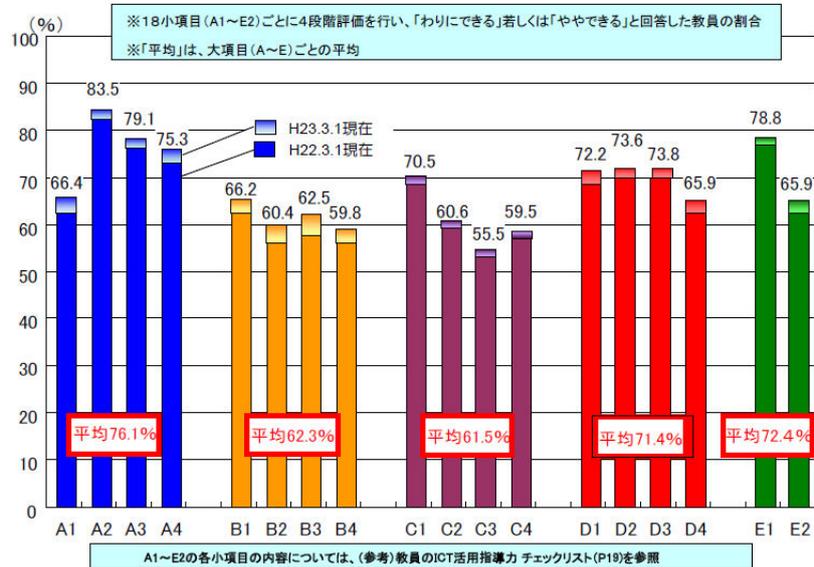
平成23年7月
文部科学省

1 教員のICT活用指導力の推移



※ 東日本大震災の影響による回答不可能学校(373校)を除いた数値である。

2 教員のICT活用指導力の状況（18小項目別・全校種）



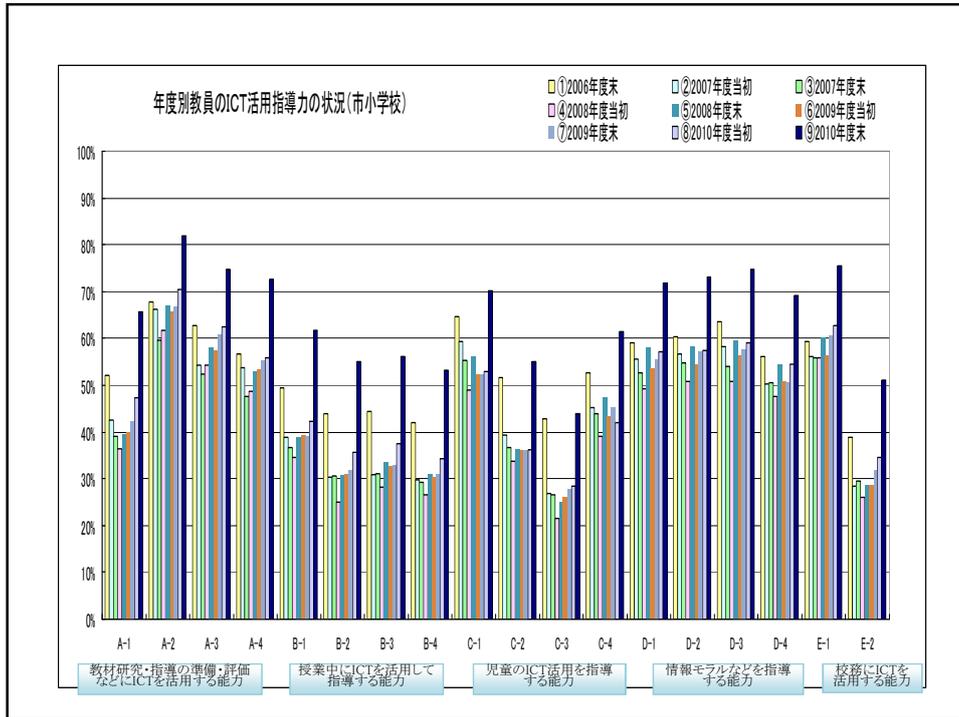
※ 東日本大震災の影響による回答不可能学校(373校)を除いた数値である。

3 上位・下位都道府県（教員のICT活用指導力・全校種）

H. 21年度

| 大項目 | 割合 (%) | 上位5都道府県 | 下位5都道府県 |
|------------------------------|-----------------|--|--|
| A 教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力 | 73.9% (H22.3.1) | 1位 三重県 86.8% 2位 愛媛県 85.0% 3位 沖縄県 84.9% 4位 茨城県 84.4% 5位 京都市 83.1% | 47位 和歌山県 67.9% 46位 千葉県 68.7% 45位 大阪府 69.3% 44位 滋賀県 69.3% 43位 島根県 69.4% |
| B 授業中にICTを活用して指導する能力 | 58.5% (H22.3.1) | 1位 三重県 78.2% 2位 愛媛県 76.0% 3位 茨城県 75.5% 4位 京都市 72.6% 5位 沖縄県 71.8% | 47位 和歌山県 50.5% 46位 千葉県 50.9% 45位 島根県 51.2% 44位 青森県 51.8% 43位 滋賀県 51.9% |
| C 児童・生徒のICT活用を指導する能力 | 60.3% (H22.3.1) | 1位 三重県 78.0% 2位 愛媛県 76.6% 3位 茨城県 76.5% 4位 京都市 73.7% 5位 沖縄県 72.0% | 47位 和歌山県 53.2% 46位 滋賀県 53.3% 45位 奈良県 54.0% 44位 愛知県 54.0% 43位 富山県 54.1% |
| D 情報モラルなどを指導する能力 | 68.6% (H22.3.1) | 1位 三重県 84.0% 2位 愛媛県 82.8% 3位 茨城県 81.7% 4位 京都市 77.8% 5位 沖縄県 77.7% | 47位 富山県 60.1% 46位 青森県 60.4% 45位 滋賀県 60.7% 44位 島根県 61.5% 43位 奈良県 62.0% |
| E 校務にICTを活用する能力 | 69.4% (H22.3.1) | 1位 三重県 83.1% 2位 京都市 81.4% 3位 愛媛県 81.3% 4位 茨城県 80.9% 5位 沖縄県 77.8% | 47位 和歌山県 60.5% 46位 千葉県 60.8% 45位 奈良県 62.7% 44位 大阪府 62.9% 43位 大分県 64.7% |

※「わりができる」若しくは「ややできる」と回答した教員の大項目別の割合。



3 上位・下位都道府県(教員のICT活用指導力・全校種)

H. 22年度

| 能力項目 | 割合 | 上位5都道府県 | 下位5都道府県 |
|------------------------------|-------------------|--|--|
| A 教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力 | 76.1% (H23. 3. 1) | 1位 三重県 90.5% 2位 愛媛県 89.8% 3位 高知県 86.4% 4位 沖縄県 85.4% 5位 茨城県 84.6% | 43位 東京都 72.0% 44位 宮崎県 72.0% 45位 大阪府 71.7% 46位 滋賀県 70.8% 47位 奈良県 70.4% |
| B 授業中にICTを活用して指導する能力 | 62.3% (H23. 3. 1) | 1位 三重県 84.8% 2位 愛媛県 82.5% 3位 高知県 77.9% 4位 岡山県 75.6% 5位 茨城県 75.4% | 43位 青森県 55.6% 44位 山形県 54.8% 45位 奈良県 54.2% 46位 滋賀県 54.1% 47位 鳥根県 53.7% |
| C 児童・生徒のICT活用を指導する能力 | 61.5% (H23. 3. 1) | 1位 三重県 82.6% 2位 愛媛県 81.5% 3位 高知県 76.1% 4位 茨城県 75.7% 5位 岡山県 72.9% | 43位 富山県 55.4% 44位 奈良県 53.8% 45位 愛知県 53.8% 46位 滋賀県 53.0% 47位 神奈川県 53.0% |
| D 情報モラルなどを指導する能力 | 71.4% (H23. 3. 1) | 1位 三重県 88.5% 2位 愛媛県 87.7% 3位 高知県 84.4% 4位 茨城県 82.2% 5位 岡山県 80.4% | 43位 長野県 64.5% 44位 山形県 64.5% 45位 滋賀県 63.8% 46位 奈良県 63.4% 47位 富山県 62.7% |
| E 校務にICTを活用する能力 | 72.4% (H23. 3. 1) | 1位 三重県 88.6% 2位 岡山県 87.7% 3位 愛媛県 87.2% 4位 高知県 82.0% 5位 茨城県 81.7% | 43位 愛知県 67.2% 44位 静岡県 67.2% 45位 滋賀県 66.6% 46位 大阪府 66.3% 47位 奈良県 63.3% |

※「わりができる」若しくは「ややできる」と回答した教員の大口目別の割合。
 ※ 東日本大震災の影響による回答不可能学校(373校)を除いた数値である。

4 都道府県別 教員のICT活用指導力の状況(3)

(都道府県別・中学校)

| 大項目A 教材研究・指導の準備・評価などに ICTを活用する能力 | | 大項目B 授業中にICTを活用して指導する能力 | | 大項目C 児童・生徒のICT活用を指導する能力 | | 大項目D 情報モラルなどを指導する能力 | | 大項目E 個別ICTを活用する能力 | | | |
|--|---------|----------------------------|---------|----------------------------|---------|------------------------|---------|----------------------|---------|------|------|
| 順位 | 都道府県名 % | 順位 | 都道府県名 % | 順位 | 都道府県名 % | 順位 | 都道府県名 % | 順位 | 都道府県名 % | | |
| 1 | 東京都 | 87.5 | 1 | 東京都 | 79.3 | 1 | 東京都 | 86.1 | 1 | 東京都 | 85.5 |
| 2 | 千葉県 | 85.1 | 2 | 千葉県 | 77.2 | 2 | 千葉県 | 79.7 | 2 | 千葉県 | 84.2 |
| 3 | 神奈川県 | 84.7 | 3 | 神奈川県 | 77.0 | 3 | 神奈川県 | 79.6 | 3 | 神奈川県 | 82.7 |
| 4 | 東京都 | 84.2 | 4 | 東京都 | 75.8 | 4 | 東京都 | 78.8 | 4 | 東京都 | 81.4 |
| 5 | 愛知県 | 83.7 | 5 | 愛知県 | 75.5 | 5 | 愛知県 | 78.7 | 5 | 愛知県 | 81.2 |
| 6 | 愛知県 | 83.0 | 6 | 愛知県 | 72.0 | 6 | 愛知県 | 77.5 | 6 | 愛知県 | 81.0 |
| 7 | 東京都 | 80.0 | 7 | 東京都 | 69.5 | 7 | 東京都 | 76.4 | 7 | 東京都 | 80.2 |
| 8 | 東京都 | 79.2 | 8 | 東京都 | 68.6 | 8 | 東京都 | 76.5 | 8 | 東京都 | 79.0 |
| 9 | 東京都 | 79.1 | 9 | 東京都 | 65.0 | 9 | 東京都 | 74.7 | 9 | 東京都 | 78.2 |
| 10 | 東京都 | 78.2 | 10 | 東京都 | 64.7 | 10 | 東京都 | 74.1 | 10 | 東京都 | 76.0 |
| 11 | 東京都 | 77.7 | 11 | 東京都 | 63.7 | 11 | 東京都 | 69.1 | 11 | 東京都 | 75.4 |
| 12 | 東京都 | 77.2 | 12 | 東京都 | 63.6 | 12 | 東京都 | 64.4 | 12 | 東京都 | 75.0 |
| 13 | 東京都 | 76.6 | 13 | 東京都 | 62.7 | 13 | 東京都 | 62.8 | 13 | 東京都 | 74.4 |
| 14 | 東京都 | 76.7 | 14 | 東京都 | 62.4 | 14 | 東京都 | 62.2 | 14 | 東京都 | 73.5 |
| 15 | 東京都 | 76.6 | 15 | 東京都 | 61.9 | 15 | 東京都 | 60.8 | 15 | 東京都 | 73.0 |
| 16 | 東京都 | 76.4 | 16 | 東京都 | 61.7 | 16 | 東京都 | 59.3 | 16 | 東京都 | 72.5 |
| 17 | 東京都 | 76.1 | 17 | 東京都 | 61.7 | 17 | 東京都 | 59.5 | 17 | 東京都 | 70.5 |
| 18 | 東京都 | 75.7 | 18 | 東京都 | 60.4 | 18 | 東京都 | 58.9 | 18 | 東京都 | 72.9 |
| 19 | 東京都 | 75.5 | 19 | 東京都 | 60.0 | 19 | 東京都 | 58.7 | 19 | 東京都 | 72.5 |
| 20 | 東京都 | 75.1 | 20 | 東京都 | 59.9 | 20 | 東京都 | 58.1 | 20 | 東京都 | 72.5 |
| 21 | 東京都 | 74.6 | 21 | 東京都 | 59.7 | 21 | 東京都 | 57.8 | 21 | 東京都 | 72.0 |
| 22 | 東京都 | 74.1 | 22 | 東京都 | 59.5 | 22 | 東京都 | 57.5 | 22 | 東京都 | 71.2 |
| 23 | 東京都 | 74.2 | 23 | 東京都 | 59.3 | 23 | 東京都 | 56.9 | 23 | 東京都 | 71.2 |
| 24 | 東京都 | 74.2 | 24 | 東京都 | 58.2 | 24 | 東京都 | 56.7 | 24 | 東京都 | 71.1 |
| 25 | 東京都 | 74.1 | 25 | 東京都 | 57.8 | 25 | 東京都 | 56.4 | 25 | 東京都 | 71.1 |
| 26 | 東京都 | 74.1 | 26 | 東京都 | 56.9 | 26 | 東京都 | 56.1 | 26 | 東京都 | 71.0 |
| 27 | 東京都 | 74.0 | 27 | 東京都 | 56.4 | 27 | 東京都 | 56.0 | 27 | 東京都 | 70.7 |
| 28 | 東京都 | 73.2 | 28 | 東京都 | 56.5 | 28 | 東京都 | 54.8 | 28 | 東京都 | 70.5 |
| 29 | 東京都 | 73.0 | 29 | 東京都 | 55.2 | 29 | 東京都 | 54.3 | 29 | 東京都 | 69.3 |
| 30 | 東京都 | 72.7 | 30 | 東京都 | 55.3 | 30 | 東京都 | 54.8 | 30 | 東京都 | 69.4 |
| 31 | 東京都 | 72.5 | 31 | 東京都 | 55.2 | 31 | 東京都 | 54.4 | 31 | 東京都 | 69.0 |
| 32 | 東京都 | 72.2 | 32 | 東京都 | 55.1 | 32 | 東京都 | 54.1 | 32 | 東京都 | 69.2 |
| 33 | 東京都 | 72.0 | 33 | 東京都 | 55.0 | 33 | 東京都 | 53.7 | 33 | 東京都 | 69.0 |
| 34 | 東京都 | 71.4 | 34 | 東京都 | 54.8 | 34 | 東京都 | 53.5 | 34 | 東京都 | 68.9 |
| 35 | 東京都 | 71.3 | 35 | 東京都 | 54.5 | 35 | 東京都 | 53.4 | 35 | 東京都 | 68.9 |
| 36 | 東京都 | 71.3 | 36 | 東京都 | 53.7 | 36 | 東京都 | 53.3 | 36 | 東京都 | 68.7 |
| 37 | 東京都 | 71.0 | 37 | 東京都 | 53.1 | 37 | 東京都 | 52.8 | 37 | 東京都 | 68.5 |
| 38 | 東京都 | 71.0 | 38 | 東京都 | 53.0 | 38 | 東京都 | 52.4 | 38 | 東京都 | 68.2 |
| 39 | 東京都 | 70.9 | 39 | 東京都 | 53.6 | 39 | 東京都 | 52.0 | 39 | 東京都 | 68.1 |
| 40 | 東京都 | 70.9 | 40 | 東京都 | 53.2 | 40 | 東京都 | 51.9 | 40 | 東京都 | 67.9 |
| 41 | 東京都 | 70.8 | 41 | 東京都 | 53.0 | 41 | 東京都 | 52.3 | 41 | 東京都 | 67.7 |
| 42 | 東京都 | 70.5 | 42 | 東京都 | 52.9 | 42 | 東京都 | 50.9 | 42 | 東京都 | 67.2 |
| 43 | 東京都 | 70.0 | 43 | 東京都 | 52.7 | 43 | 東京都 | 49.8 | 43 | 東京都 | 66.6 |
| 44 | 東京都 | 69.8 | 44 | 東京都 | 52.4 | 44 | 東京都 | 49.3 | 44 | 東京都 | 66.2 |
| 45 | 東京都 | 68.7 | 45 | 東京都 | 51.8 | 45 | 東京都 | 47.2 | 45 | 東京都 | 65.5 |
| 46 | 東京都 | 68.1 | 46 | 東京都 | 49.3 | 46 | 東京都 | 45.0 | 46 | 東京都 | 61.1 |
| 47 | 東京都 | 74.1 | 47 | 東京都 | 48.3 | 47 | 東京都 | 41.4 | 47 | 東京都 | 60.2 |
| | 平均 | 74.1 | | 平均 | 58.8 | | 平均 | 57.0 | | 平均 | 71.3 |

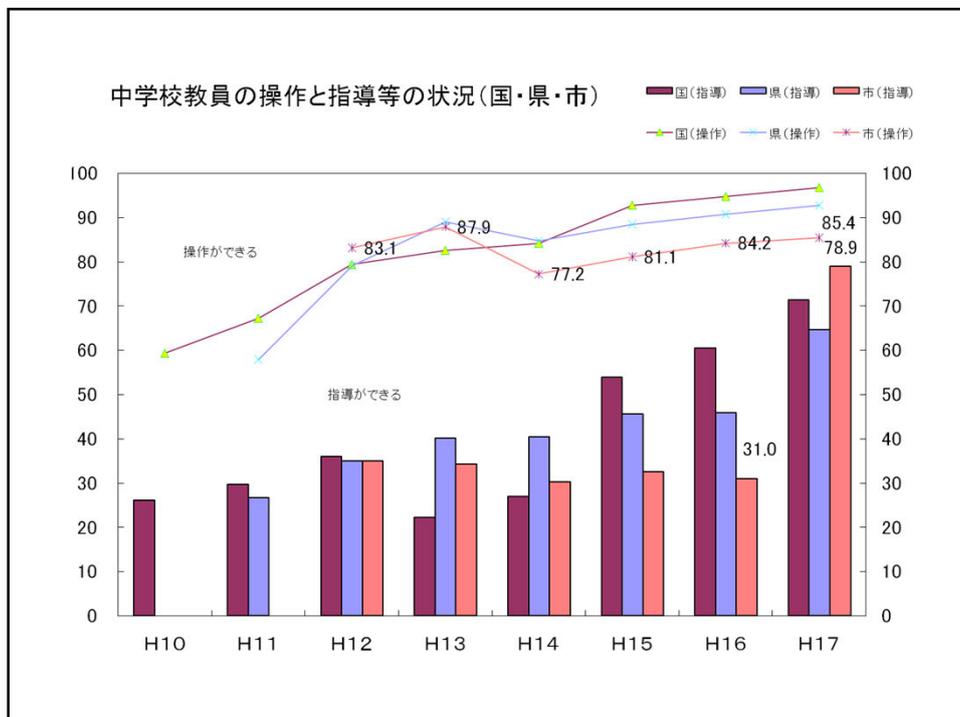
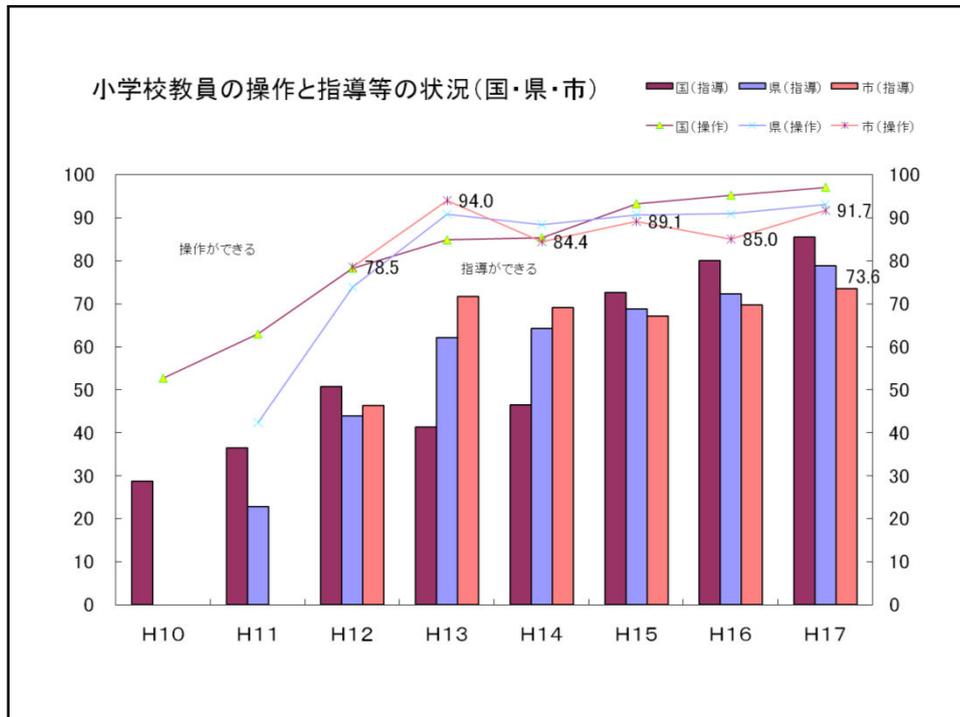
※ 東日本大震災の影響による回答不可能学校(373校)を除いた数値である。

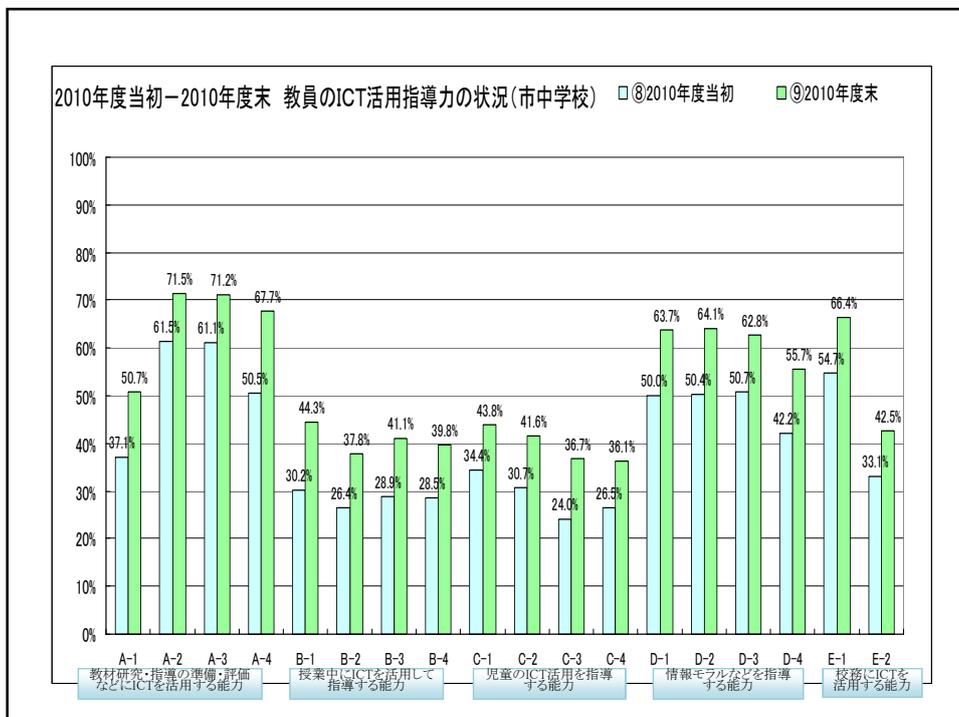
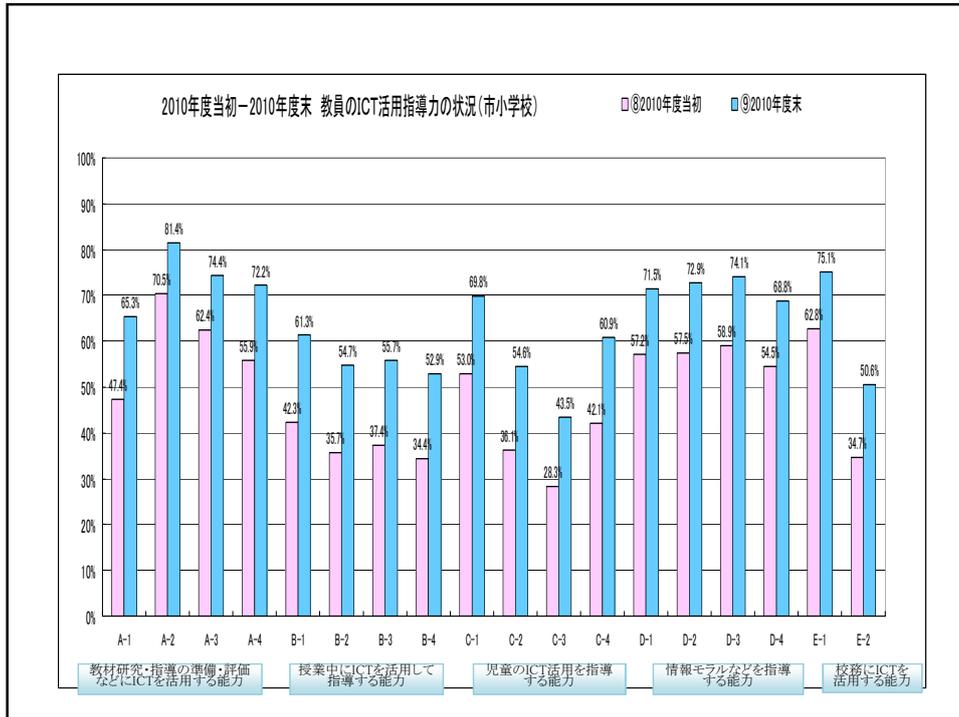
4 都道府県別 教員のICT活用指導力の状況(4)

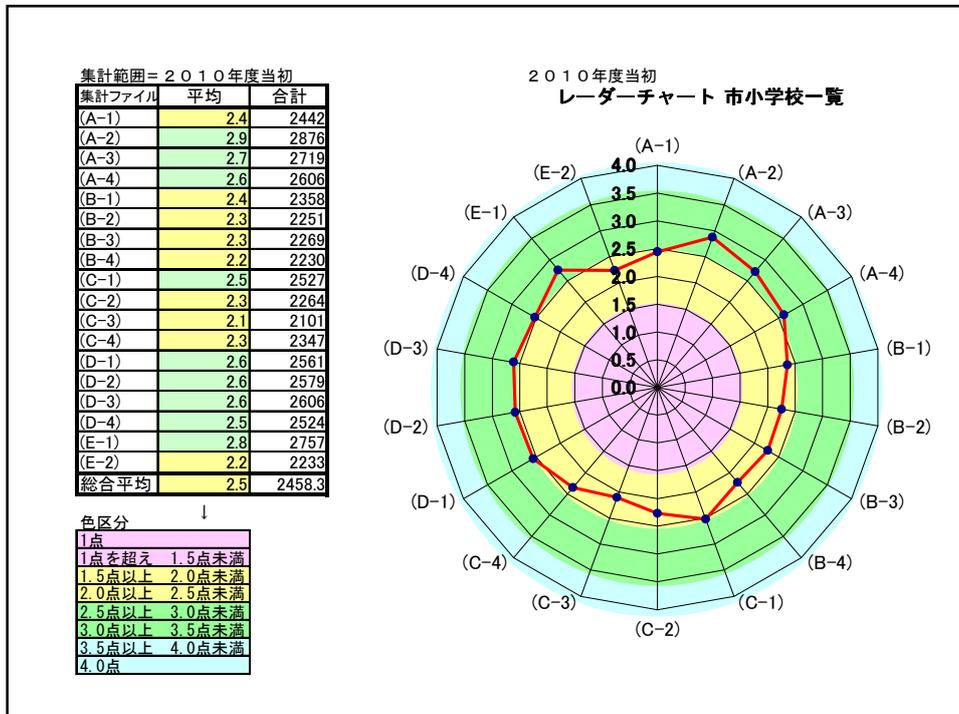
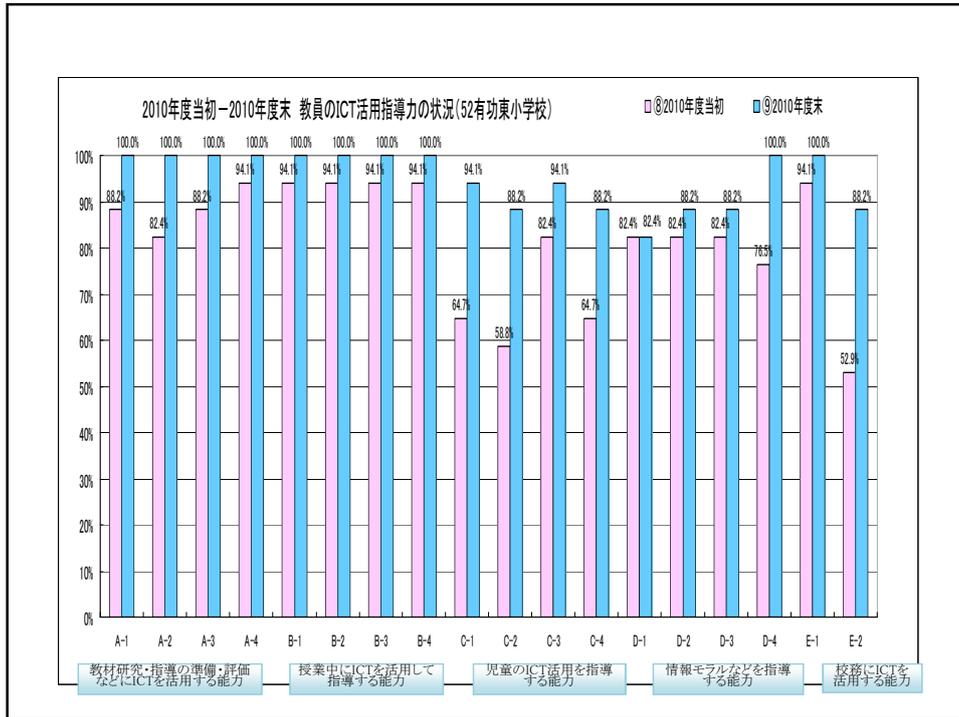
(都道府県別・高等学校)

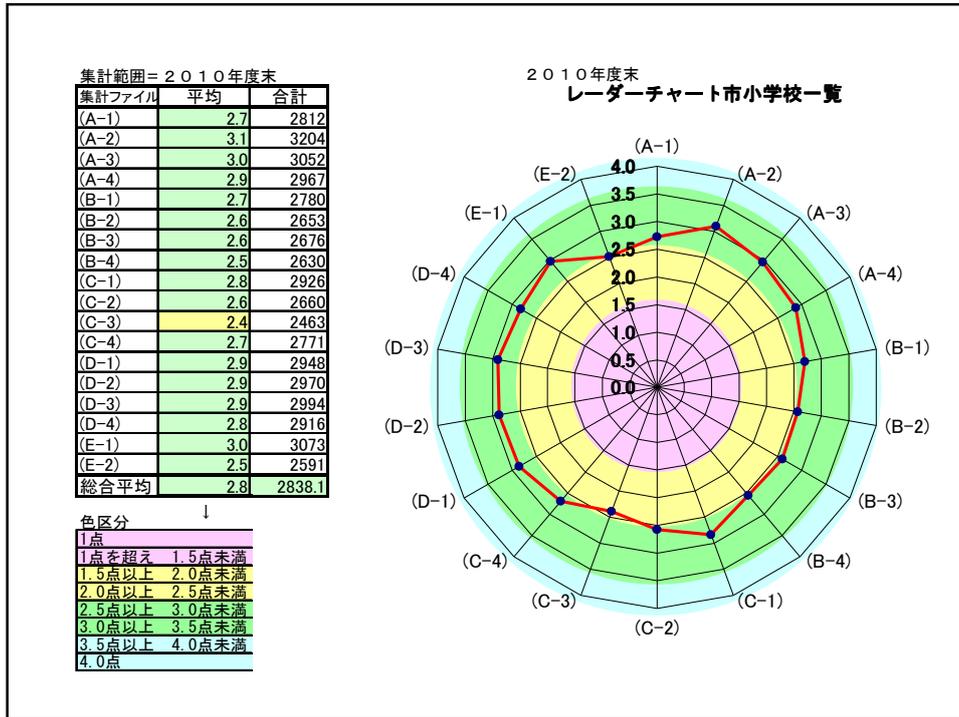
| 大項目A 教材研究・指導の準備・評価などに ICTを活用する能力 | | 大項目B 授業中にICTを活用して指導する能力 | | 大項目C 児童・生徒のICT活用を指導する能力 | | 大項目D 情報モラルなどを指導する能力 | | 大項目E 個別ICTを活用する能力 | | | |
|--|---------|----------------------------|---------|----------------------------|---------|------------------------|---------|----------------------|---------|-----|------|
| 順位 | 都道府県名 % | 順位 | 都道府県名 % | 順位 | 都道府県名 % | 順位 | 都道府県名 % | 順位 | 都道府県名 % | | |
| 1 | 東京都 | 97.1 | 1 | 東京都 | 82.9 | 1 | 東京都 | 86.4 | 1 | 東京都 | 86.6 |
| 2 | 東京都 | 92.2 | 2 | 東京都 | 87.4 | 2 | 東京都 | 89.2 | 2 | 東京都 | 91.8 |
| 3 | 東京都 | 91.9 | 3 | 東京都 | 86.5 | 3 | 東京都 | 84.2 | 3 | 東京都 | 89.6 |
| 4 | 東京都 | 91.2 | 4 | 東京都 | 86.6 | 4 | 東京都 | 86.5 | 4 | 東京都 | 90.4 |
| 5 | 東京都 | 89.8 | 5 | 東京都 | 79.8 | 5 | 東京都 | 78.0 | 5 | 東京都 | 90.1 |
| 6 | 東京都 | 88.1 | 6 | 東京都 | 78.4 | 6 | 東京都 | 77.2 | 6 | 東京都 | 87.0 |
| 7 | 東京都 | 86.9 | 7 | 東京都 | 77.0 | 7 | 東京都 | 76.7 | 7 | 東京都 | 86.5 |
| 8 | 東京都 | 86.4 | 8 | 東京都 | 75.3 | 8 | 東京都 | 73.7 | 8 | 東京都 | 86.1 |
| 9 | 東京都 | 85.8 | 9 | 東京都 | 74.5 | 9 | 東京都 | 73.0 | 9 | 東京都 | 84.6 |
| 10 | 東京都 | 85.2 | 10 | 東京都 | 73.5 | 10 | 東京都 | 72.5 | 10 | 東京都 | 84.5 |
| 11 | 東京都 | 84.1 | 11 | 東京都 | 72.0 | 11 | 東京都 | 71.3 | 11 | 東京都 | 83.4 |
| 12 | 東京都 | 82.6 | 12 | 東京都 | 71.7 | 12 | 東京都 | 69.7 | 12 | 東京都 | 82.2 |
| 13 | 東京都 | 81.2 | 13 | 東京都 | 71.0 | 13 | 東京都 | 67.5 | 13 | 東京都 | 81.2 |
| 14 | 東京都 | 80.9 | 14 | 東京都 | 67.0 | 14 | 東京都 | 66.3 | 14 | 東京都 | 81.2 |
| 15 | 東京都 | 79.8 | 15 | 東京都 | 65.4 | 15 | 東京都 | 64.9 | 15 | 東京都 | 79.6 |
| 16 | 東京都 | 79.1 | 16 | 東京都 | 65.4 | 16 | 東京都 | 64.4 | 16 | 東京都 | 79.5 |
| 17 | 東京都 | 78.1 | 17 | 東京都 | 63.9 | 17 | 東京都 | 63.2 | 17 | 東京都 | 78.4 |
| 18 | 東京都 | 76.7 | 18 | 東京都 | 63.4 | 18 | 東京都 | 62.7 | 18 | 東京都 | 77.6 |
| 19 | 東京都 | 76.4 | 19 | 東京都 | 62.8 | 19 | 東京都 | 61.0 | 19 | 東京都 | 77.8 |
| 20 | 東京都 | 76.4 | 20 | 東京都 | 62.4 | 20 | 東京都 | 59.7 | 20 | 東京都 | 76.9 |
| 21 | 東京都 | 75.7 | 21 | 東京都 | 60.4 | 21 | 東京都 | 59.0 | 21 | 東京都 | 76.0 |
| 22 | 東京都 | 75.7 | 22 | 東京都 | 60.3 | 22 | 東京都 | 58.6 | 22 | 東京都 | 74.8 |
| 23 | 東京都 | 75.7 | 23 | 東京都 | 59.7 | 23 | 東京都 | 58.5 | 23 | 東京都 | 74.4 |
| 24 | 東京都 | 75.4 | 24 | 東京都 | 59.6 | 24 | 東京都 | 58.4 | 24 | 東京都 | 74.0 |
| 25 | 東京都 | 75.4 | 25 | 東京都 | 59.5 | 25 | 東京都 | 58.1 | 25 | 東京都 | 73.8 |
| 26 | 東京都 | 75.1 | 26 | 東京都 | 59.3 | 26 | 東京都 | 57.9 | 26 | 東京都 | 73.4 |
| 27 | 東京都 | 74.5 | 27 | 東京都 | 59.3 | 27 | 東京都 | 57.8 | 27 | 東京都 | 73.2 |
| 28 | 東京都 | 74.4 | 28 | 東京都 | 57.8 | 28 | 東京都 | 57.8 | 28 | 東京都 | 73.2 |
| 29 | 東京都 | 74.2 | 29 | 東京都 | 57.5 | 29 | 東京都 | 57.6 | 29 | 東京都 | 73.2 |
| 30 | 東京都 | 74.2 | 30 | 東京都 | 57.2 | 30 | 東京都 | 57.2 | 30 | 東京都 | 73.1 |
| 31 | 東京都 | 74.0 | 31 | 東京都 | 56.7 | 31 | 東京都 | 56.9 | 31 | 東京都 | 72.5 |
| 32 | 東京都 | 74.0 | 32 | 東京都 | 56.5 | 32 | 東京都 | 56.8 | 32 | 東京都 | 72.3 |
| 33 | 東京都 | 73.9 | 33 | 東京都 | 56.2 | 33 | 東京都 | 56.3 | 33 | 東京都 | 72.3 |
| 34 | 東京都 | 73.9 | 34 | 東京都 | 56.2 | 34 | 東京都 | 56.2 | 34 | 東京都 | 71.8 |
| 35 | 東京都 | 73.3 | 35 | 東京都 | 55.8 | 35 | 東京都 | 55.2 | 35 | 東京都 | 71.6 |
| 36 | 東京都 | 73.2 | 36 | 東京都 | 55.6 | 36 | 東京都 | 55.1 | 36 | 東京都 | 71.5 |
| 37 | 東京都 | 72.9 | 37 | 東京都 | 55.0 | 37 | 東京都 | 55.1 | 37 | 東京都 | 71.2 |
| 38 | 東京都 | 72.8 | 38 | 東京都 | 55.0 | 38 | 東京都 | 55.0 | 38 | 東京都 | 70.7 |
| 39 | 東京都 | 72.2 | 39 | 東京都 | 54.8 | 39 | 東京都 | 55.3 | 39 | 東京都 | 70.2 |
| 40 | 東京都 | 72.9 | 40 | 東京都 | 54.8 | 40 | 東京都 | 53.0 | 40 | 東京都 | 69.9 |
| 41 | 東京都 | 72.8 | 41 | 東京都 | 52.7 | 41 | 東京都 | 52.7 | 41 | 東京都 | 69.7 |
| 42 | 東京都 | 72.4 | 42 | 東京都 | 52.5 | 42 | 東京都 | 53.1 | 42 | 東京都 | 69.3 |
| 43 | 東京都 | 70.9 | 43 | 東京都 | 51.8 | 43 | 東京都 | 51.3 | 43 | 東京都 | 68.5 |
| 44 | 東京都 | 70.7 | 44 | 東京都 | 51.7 | 44 | 東京都 | 51.9 | 44 | 東京都 | 68.1 |
| 45 | 東京都 | 69.6 | 45 | 東京都 | 50.5 | 45 | 東京都 | 51.3 | 45 | 東京都 | 68.3 |
| 46 | 東京都 | 69.5 | 46 | 東京都 | 50.4 | 46 | 東京都 | 51.9 | 46 | 東京都 | 68.1 |
| 47 | 東京都 | 69.2 | 47 | 東京都 | 49.4 | 47 | 東京都 | 49.4 | 47 | 東京都 | 68.2 |
| | 平均 | 78.4 | | 平均 | 64.2 | | 平均 | 63.3 | | 平均 | 77.0 |

※ 東日本大震災の影響による回答不可能学校(373校)を除いた数値である。









A先生と情報教育研修（2009年度）

| No | 年月日 | 研修名 | 校種 | カテゴリ | 校園名 | 職名 |
|----|-----------|------------------|----|------|-------|----|
| 1 | 2009/5/25 | 情報セキュリティ研修 | 小 | DE | 〇〇小学校 | 校長 |
| 2 | 2009/7/21 | 情報教育研修ワード① | 小 | ABCE | 〇〇小学校 | 校長 |
| 3 | 2009/7/21 | 情報教育研修ワード② | 小 | ABCE | 〇〇小学校 | 校長 |
| 4 | 2009/8/6 | 情報教育研修ワード③ | 小 | ABCE | 〇〇小学校 | 校長 |
| 5 | 2009/8/6 | 情報教育研修ワード④ | 小 | ABCE | 〇〇小学校 | 校長 |
| 6 | 2009/7/22 | 情報教育研修 エクセル① | 小 | CE | 〇〇小学校 | 校長 |
| 7 | 2009/7/22 | 情報教育研修 エクセル② | 小 | CE | 〇〇小学校 | 校長 |
| 8 | 2009/7/31 | 情報教育研修 エクセル③ | 小 | CE | 〇〇小学校 | 校長 |
| 9 | 2009/7/31 | 情報教育研修 エクセル④ | 小 | CE | 〇〇小学校 | 校長 |
| 10 | 2009/8/28 | 情報教育研修 ワード技 | 小 | ABCE | 〇〇小学校 | 校長 |
| 11 | 2009/8/28 | 情報教育研修 エクセル技 | 小 | CE | 〇〇小学校 | 校長 |
| 12 | 2009/8/4 | マルチメディア活用研修 デジカメ | 小 | ABCE | 〇〇小学校 | 校長 |
| 13 | 2009/8/4 | 情報教育研修 プレゼン① | 小 | ABCE | 〇〇小学校 | 校長 |
| 14 | 2009/8/11 | 情報教育研修 プレゼン② | 小 | ABCE | 〇〇小学校 | 校長 |
| 15 | 2009/8/11 | 情報教育研修 プレゼン③ | 小 | ABCE | 〇〇小学校 | 校長 |

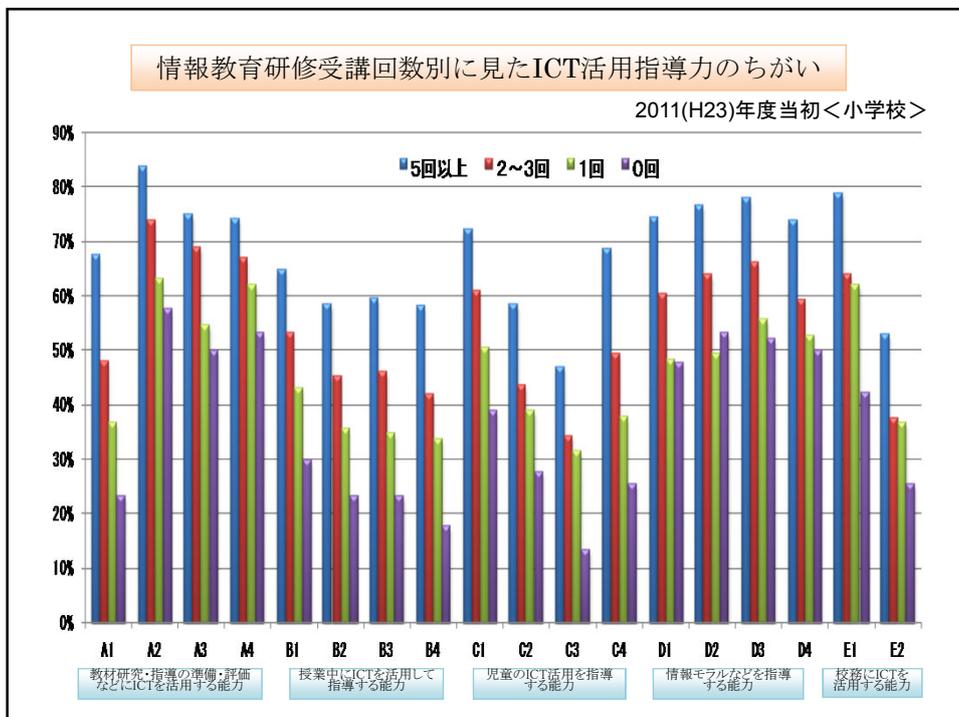
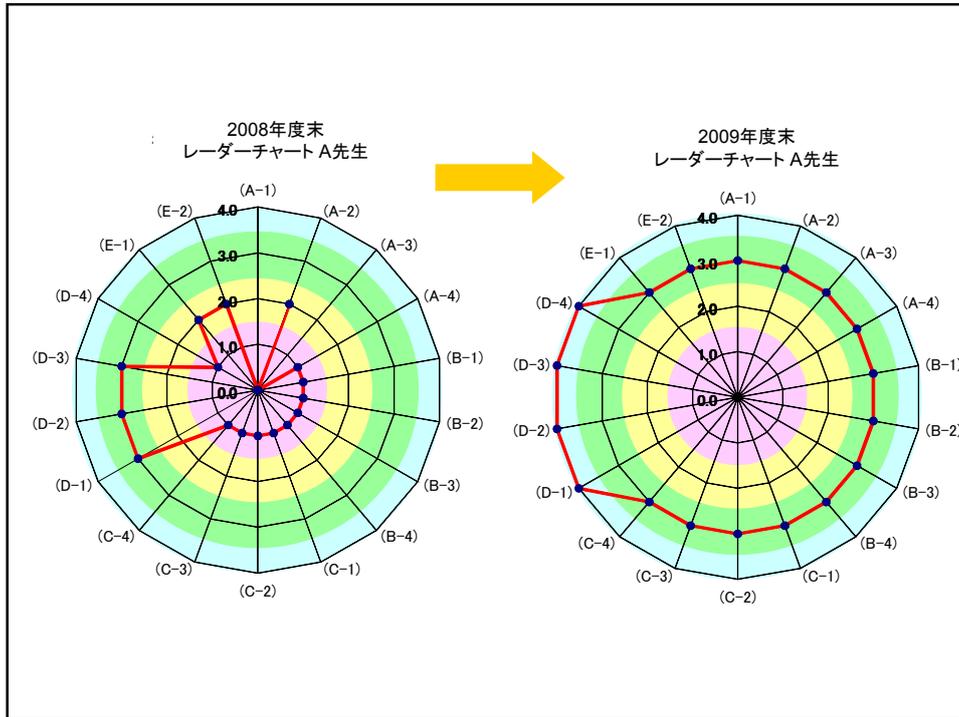
修了認定書

和歌山市立〇〇小学校
和歌山□太郎様

あなたは平成21年度夏季情報教育研修マスターコースにおいて
 コースⅠ (Word 2007)
 コースⅡ (Excel 2007)
 コースⅢ (デジタルPowerPoint2007)を修了し
 ICT活用指導力A・B・Eを習得した
 ことをここに証します

A 教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力
 B 授業中にICTを活用して指導する能力
 E 校務にICTを活用する能力

平成21年 9月 1日
和歌山市立教育研究所
所長 竹内 弘純



和歌山市Wプロジェクト

今後の取り組みとして

和歌山市教育の情報化Wプロジェクトの取組

第1期

2007年度 小学校教育用コンピュータシステムの更新
 タブレットPCを全国に先駆けて約1300台を導入
 「ICTを活用した学力向上のための研究」Wプロジェクト
 「NEXTプロジェクト」に参加 (MS&メディア教育開発センター)
 教員研修体制の強化・内容の充実

2008年度 タブレットPCの教育効果の実証研究 (大規模調査)
 NEXT・Wプロジェクト実証研究の成果発表

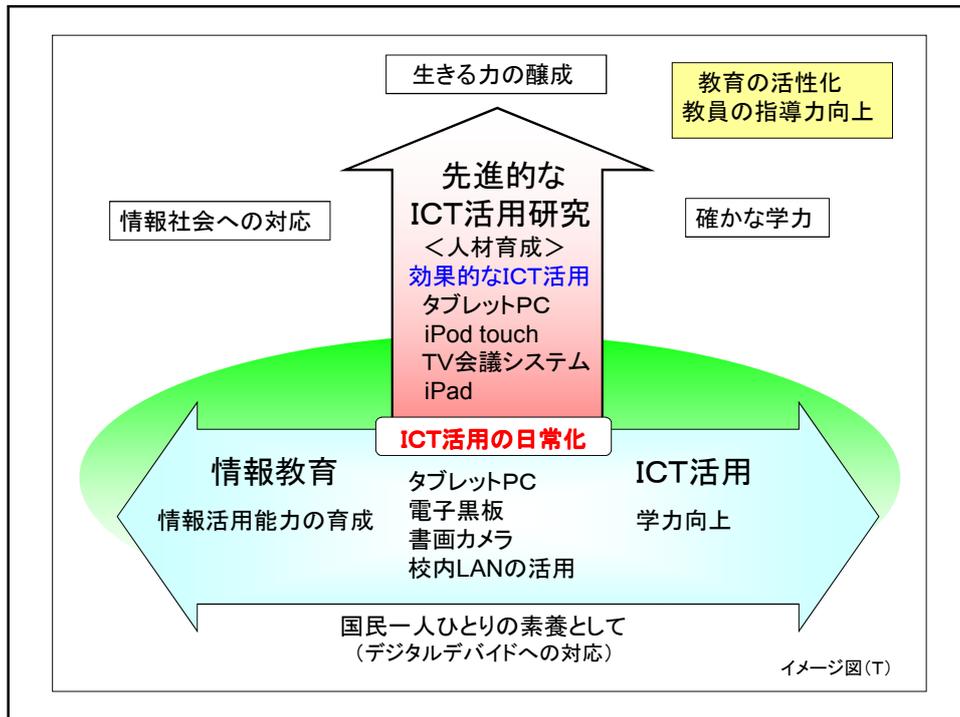
第2期

2009年度 「電子黒板を活用した教育に関する調査研究」 (文部科学省)
 「和歌山市子ども元気アップ大作戦」 (総務省ユビキタス特区事業)
 「学校ICT環境整備事業」 (文部科学省)

2010年度 「地域雇用創造ICT絆プロジェクト」 (総務省)

第3期

2011年度 「センターシステム・中学校用コンピュータシステム更新」
 TV会議システム28台、ICT支援員等
 「フューチャースクール推進事業・学びのイノベーション事業」 (総務省・文部科学省)



和歌山市教育委員会と和歌山大学教育学部が連携協力の協定を締結



学生の教育実習などを通して、教職員の資質の向上をはかり、地域の教育課題に対応しようと和歌山市教育委員会と和歌山大学教育学部は、きょう(22日)、相互の連携協力に関する協定を締結しました。 **2011年2月22日**

国語力アップに“うちどく”

和歌山市教委が推進



おうちで読書、略して“うちどく”。子どもの活字離れや国語力低下が叫ばれる中、和歌山市教委はうちどく事業を1月にスタートさせた。子どもだけでなく、家族が本の感想を書き込む欄を設けた専用ノートを製作し、家族で本を話題に会話する時間を増やそうとの取り組みだ。市学校教育課は「『良いお話だね』『心ほかほかするね』など家の人と感想を話し合うことで、伝える力が身につく。うちどくを通し、言葉の力を育む基盤を養ってほしい」と話している。

そのうち「徳」する

うちどく (おうちで読書) のすすむ

『うちどく』でことばの力を育て、心を豊かにしよう

うちどくのよさ

- ①「うちどく」により家族一緒に過ごす時間が増えます。家族や親しい人と本の内容について語り合う経験を重ねることが、子どもの心を開き伸ばしていきます。
- ②本を中心に、読む・書く・伝える・聴くなどの総合的な読書活動が展開でき、「ことばの力」を育てていくことができます。
- ③読書を通じて、子どもに人間の生き方や社会、自然についての正しく豊かな見方、考え方、感じ方を身につけさせることができます。それは、やがて子どもの心に「徳」となって根付いていきます。

和歌山市教育委員会 大江 嘉幸

和歌山市教育委員会では、子どもの心豊かに育ちあふ環境を創出し、『うちどく』を推進してまいります。

「うちどく」とは？
家庭で子どもといっしょに読書する時間をもち、本を中心として会話したり、記録したりする取組を、「おうちで読書」として「うちどく」といいます。

「うちどく」の方法は？
読め方に特にきまりはありません。家庭の事情や発達年齢に応じて、1週間に1日30分から1時間程度、テレビを消して、パソコンを閉じて、家族一緒におうちで読書する時間を定めます。

和歌山市教育委員会「ことばを育て心を豊かに育て創生事業」
担当課 学校教育課 (TEL 073-435-1139)

■和歌山市(推進開始:2011年1月)

そのうち「徳」するうちどく平成22年度「子育て創生事業」の一環として「そのうち『徳』するうちどく」をスローガンに推進。2011年1月、読書環境整備のため、うちどく用図書を購入し、市立の幼稚園13園、小学校52校、中学校18校、保育所24所、児童館8館に配布。

また、子どもたちが保護者や友だちと読書の思い出を記録・共有できるように、幼児用、小学校低学年・中学年用「うちどくノート」を、小学校高学年用と中学校用には「共読(ともどく)ノート」を配布。

さらに、2011年2月より「うちどく」講演会や和歌山大学との連携によるサテライト事業「うちどく講座」などを開催し、読書の重要性を理解しながら、親子で読書活動をすすめ、ともに育ちあう親子関係を築くことを目指している。

退職校長11人を教員の「指導員」に委嘱 2011年04月18日

和歌山市教委は本年度、教員の授業力向上を目指した研修を新たに実施する。その指導にあたる教員の委嘱式が15日、同市西汀丁の教育文化センターで行われた。

委嘱されたのは専門的知識を持つ退職校長11人。採用されて3、4年目のすべての小中学校教員122人と同研修を希望する教員を対象に、学級経営や授業構成・展開についての理論、技能について指導する。

本年度は、小学校教員は校内研修5回と集合研修1回、中学校教員は集合研修1回実施。

大江嘉幸教育長は、新しい教員にとっては授業力や学級運営などは満足できる状況にないなどの課題に触れながら「豊富な経験を生かした指導助言をお願いし、次の世代へバトンをつないでほしい」とあいさつ。

指導員を代表し、片桐清司さんは「体力的にも不安はありますが、私たち11人が助け合い、この先生に出会えて本当に良かったと言われるような指導に努めたい」と語った。





郷土に誇りを 社会科の副読本改編

和歌山市小学校社会科研究会(福田光男会長)が編集し、市が発行している社会科の副読本「わたしたちの和歌山市」(B5版・100ページ)がことし大きく改編された。郷土和歌山を誇りに思ってもらおうと、「先人の働き」と題して世界的に活躍した松下幸之助ら偉人の紹介欄を拡大。同本は支援学校なども含め、市内61校に配布し、教科書と併用して活用されている。

同本は昭和48年に初版を発行。教科書では福岡市をモデル地区にしており、学習する上で児童らがイメージしにくいと、教科書と併用する目的で作られている。

今回改編された偉人の紹介は、以前まで小さなコーナーでまとめて紹介していたが、同会は「郷土に誇りを持つには人を知るのが大事」とし、松下幸之助、川端龍子、高橋克己の3氏を採用。それぞれ数ページにわたって写真入りで、生まれから偉業を残すまでの歩みや苦勞などを紹介している。また、児童が主体的に学習できるよう、子どものキャラクターが調べていく設定で、児童自身が本の主人公になれる工夫も凝らした。難しい語句は説明書きを入れたり、書き込めるようワークシートを入れたりと同本1冊で学習できるようにも配慮した。

同本で校区調べのモデル校となっている同市坂ノ上丁の市立雄湊小学校3年生の授業では、本に載っている地図を見て、児童が遠足で行った経路や学校の位置などを話し合っ

て学習中。
井上夏希さん(9)は「自分の知っているところが載ってて、比べられるのがいい」と笑顔で話していた。

<2011年7月11日 わかやま新報>

和歌山市教育の情報化Wプロジェクトの取組

～子どもたちの輝く未来を築くために～



藤戸台小学校

□ 2007年度 注目されるWプロジェクト 「10/5 調印式」記者発表に報道関係22社

<テレビ放送等>



10/5 (金) NHK



10/5 (金) 毎日放送



10/5 (金) 関西テレビ



10/5 (金) テレビ和歌山



10/25読売テレビ取材



2/19 マイクロソフト
イメージビデオ撮影

<ラジオ放送>

□ 10/5(金)和歌山放送 ニュース 14:23~

<新聞>

- 10/5(金)産経新聞(夕刊)社会面
- 10/5(金)神戸新聞(夕刊)社会面
- 10/6(土)朝日新聞 和歌山県版
- 10/6(土)わかやま新報
- 10/9(火)フジサンケイビジネスアイ
- 10/17(水) ニュース和歌山
- 11/3(日)教育家庭新聞(教育メディア新聞)
- 10/5(金)日本経済新聞(夕刊)社会面
- 10/5(金)京都新聞(夕刊)社会面
- 10/6(土)読売新聞 和歌山県版

□ 2008年度 注目されるWプロジェクト

<テレビ放送等>



4/4 (金) 第1回放送
NHK総合「かんさい熱視線」



5/21 (水) 読売テレビ
「ズームインスーパー」



6/22 (日) 関西テレビ
「ビジネスカンサイ」



5/26 (月)
イメージビデオ
NEXTプロジェクト
(マイクロソフト社
企業市民活動)



8/12 (火)
マイクロソフト企業市民活動ポスター
制作 (雑賀小学校)
⇒新聞 (日本経済新聞、日本教育新聞、
教育新聞)、雑誌、駅貼りポスター
(首都圏・霞ヶ関周辺)、Web等



<新聞>

読売新聞社「教育ルネサンス」
取材 (雑賀小学校)
⇒9/18 (木) 全国紙



朝日新聞「学問のススメ」
取材 (四箇郷小学校)
⇒9/28 (日) 全国紙

□ 2009年度 注目されるWプロジェクト
 <テレビ放送等>

2/4 (水) テレビ和歌山
 「今週のリーダー」



2/15 (日) 県教育委員会
 「はばたく紀の国」
 テレビ和歌山



6/9 (火) テレビ和歌山
 「PC活用で学習意欲向上」



6/9 (火) NHK和歌山
 「ペン入力パソコンで学習意欲UP!？」



□ 2010年度～ 注目されるWプロジェクト



6/21 (月) 18:10～ NHK和歌山
 「わかやまNEWS WAVE」



6/22 (火) 19:45～ NHK大阪
 「NHKニュースおはよう関西」



7/16 (金) NTV ドン!
 「イマドキ学校事情」



2011/6/28 (火) 7:50～ 関西テレビ 「すまたん」

タブレットPC導入へ
 台湾の視察団が有功東小を訪問

「和歌山県立有功東小学校」が、今年度から「タブレットPC」を導入する。台湾からの視察団が、6月27日、和歌山市の有功東小学校を訪問し、タブレットPCの導入について、関係者の意向を聞き取った。視察団は、台湾の公立小学校で、タブレットPCを導入している学校を訪問し、導入の経緯や効果について、関係者の意向を聞き取った。視察団は、台湾の公立小学校で、タブレットPCを導入している学校を訪問し、導入の経緯や効果について、関係者の意向を聞き取った。

□2010.4.17 わかやま新報 (2010.4.29)
**台湾・高雄市政府教育視察団
 和歌山市の取り組みを視察**

□2010.4.17台湾・高雄市政府教育視察団が和歌山市の取り組みを視察

タッチペンで学習すいすい

和歌山・有功東小 P.C授業

和歌山市の産院小学校が導入している小型のタッチペン「コンタクト」...



読売新聞 (2010.5.11和歌山版)

台湾から視察団

有功東小 先進授業を見学

台湾・高雄市の教育視察団が、和歌山市の有功東小...



産経新聞 (2010.5.11和歌山版)

中日新聞 (2010.5.17)

2010年7月3日 教育家庭新聞

11 産経新聞 2010年(平成22年)5月17日(日曜日)

教室を一新? 「デジタル教科書」

和歌山市立小学校に800台のタブレットPCやDSの導入校...

国が今秋から10校で実験... カラフル、寄せ書き感覚... 機動的に答案やりとり

真剣10代登場... 和歌山市立小学校に800台のタブレットPCやDSの導入校...

児童全員にモバイル端末

和歌山市内小学校に800台のタブレットPCやDSの導入校...

家庭学習の iPod touch

可能性が広がった

和歌山市立小学校に800台のタブレットPCやDSの導入校...

教育家庭新聞より

2011年(平成23年)1月1日(土曜日) (14)

絆プロジェクト

採択地域・学校に総額約20億円

総務省

24件46校決定

総務省の「地域雇用創造ICT絆プロジェクト」採択地区が決定した。「教育情報化事業」については30件応募があり、24地区が採択された。ICT支援員やデジタルコンテンツ作成支援員などの人材の配置や、教育の情報化コーナーなどの育成と併せ、教育の情報化の環境構築の推進を支援する。ICT支援員の配置のほか、環境整備では、3学年以上の全児童・全学級担任に1人1台のタブレットPC、3年以上の全普通教室にインターネットタイプ・ホワイトボード、校内無線LAN環境の整備ができる。予算は1校につき上限5,000万円。

採択地区は以下。福島県新地町(福田小学校)、愛媛県松山市(八坂小学校)、高知県高岡郡市(久礼田小学校、奈路小学校)、高知県四万十町(川小学校)、佐賀市(赤松小学校、若楠小学校)、山梨県武蔵市(山内東小学校、武内小学校)、長野県五島市(三井築小学校)、熊本県人吉市(人吉東小学校、人吉西小学校、東間小学校、大畑小学校)、石川県内灘町(清湖小学校)、大阪府箕面市(止々呂美小学校)、大阪府守口市(三郷小学校、橋波小学校)、兵庫県丹波市(三輪小学校、小川小学校)、和歌山県和歌山市(雄湊1おのみなと小学校、貴志小学校)、岡山県新見市(高尾小学校)、徳島県三好市(池田小学校、辻小学校)、愛媛県松山市(八坂小学校)、高知県高岡郡市(久礼田小学校、奈路小学校)、高知県四万十町(川小学校)、佐賀市(赤松小学校、若楠小学校)、山梨県武蔵市(山内東小学校、武内小学校)、長野県五島市(三井築小学校)、熊本県人吉市(人吉東小学校、人吉西小学校、東間小学校、大畑小学校)、石川県内灘町(清湖小学校)、大阪府箕面市(止々呂美小学校)、大阪府守口市(三郷小学校、橋波小学校)、兵庫県丹波市(三輪小学校、小川小学校)、和歌山県和歌山市(雄湊1おのみなと小学校、伊豆味小学校)。

報道資料



平成23年8月30日
総務省
文部科学省

総務省「フューチャースクール推進事業」及び文部科学省「学びのイノベーション事業」に係る委託先候補の決定

1. 中学校 8校

| | 実施主体 | 学校 |
|---|--------------|---------|
| 1 | 福島県新地町 | 尚英中学校 |
| 2 | 国立大学法人横浜国立大学 | 附属横浜中学校 |
| 3 | 国立大学法人上越教育大学 | 附属中学校 |
| 4 | 三重県松阪市 | 三雲中学校 |
| 5 | 和歌山県和歌山市 | 城東中学校 |
| 6 | 岡山県新見市 | 哲西中学校 |
| 7 | 佐賀県 | 武雄青陵中学校 |
| 8 | 沖縄県宮古島市 | 下地中学校 |

2. 特別支援学校 2校

| | 実施主体 | 学校 |
|---|--------|----------|
| 1 | 富山県 | ふるさと支援学校 |
| 2 | 京都府京都市 | 桃陽総合支援学校 |

